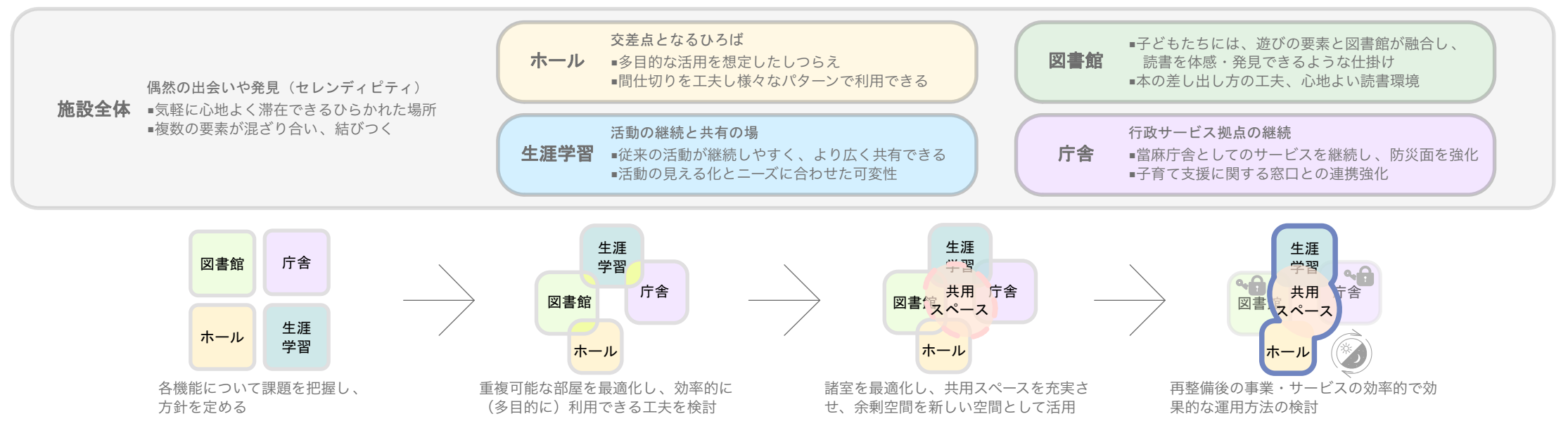


これまでの経緯

葛城市當麻複合施設整備基本計画（以下「基本計画」という。）では、市民アンケートやワークショップ、パブリックコメントや市議会特別委員会での意見を踏まえ、新しい複合施設が目指すあり方を整理しました。

地域子どもたちやまちの大人たちが共に使いやすく、ゆっくり時間が過ごせる場所であることをコンセプトに、1つの施設に複数の機能を共存させるための最適化・効率化の方針について必要事項を示しています。

現在進行中の設計段階では、基本計画を反映した具体的な機能・サービスの配置について検討を深めていくことになります。



これから目指す施設像

【葛城市らしい複合施設の実現】

基本計画に掲げる整備方針の具現化に加え、複合施設としてのさらなる魅力の向上を図るため、市の「地理的特性」や「まちづくりの考え方」を建築空間に反映させ、葛城市らしい複合施設を目指します。

【地理的特性】

- ・国宝を携える當麻寺や相撲発祥のゆかりの地など、歴史と文化が深く息づいた周辺地域
- ・緑豊かな山々や丘陵に囲まれ、奈良盆地が一望できる山の辺の立地
- ・日本最古の官道である竹内街道や當麻寺参道など、歴史的町並みと路地が織りなす美しさ

【まちづくりの考え方】

「立地適正化計画」
高齢者をはじめ誰もが自立して生活できる安心・安全で賑わい・魅力のある地域づくり

「都市再生整備計画」
市民ニーズを踏まえた複合施設整備による拠点形成を通じた、集い・憩いの場づくり

↓

今後も住み心地よく、生涯にわたって暮らしてもらうことを方針とし、地域に根付いた文化やコミュニティを守る担い手として、高齢をはじめ子育て世代を含めた誰もが自立し、支えあう中で安心して住み続けられるよう、地域に開かれた市民活動の場を設ける。

【建築空間に取り入れる要素】

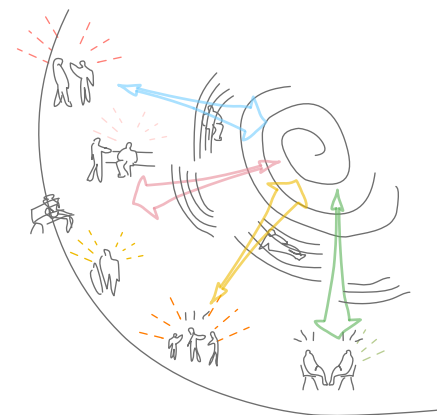
- ・国技館の土俵のような、来館者の一体感を生み、施設の核となる空間デザイン→〈ひろば〉
- ・葛城市の街並み、路地、坂道、石段、井戸端のイメージを取り入れた、まち歩き・散策・寄り道を誘発するしつらえ→〈みち〉
- ・多様なしつらえの中をつなぎ、来館者の新たな居場所・学び・活動・出会いを創出する空間づくり→〈かけはし〉
- ・奈良盆地の山々の稜線や街並みが覗く、見晴らしの良い景色を取り入れた、ゆったりとした時間の流れを感じる、居心地の良い居場所づくり→〈まち〉

【建物全体のコンセプト】

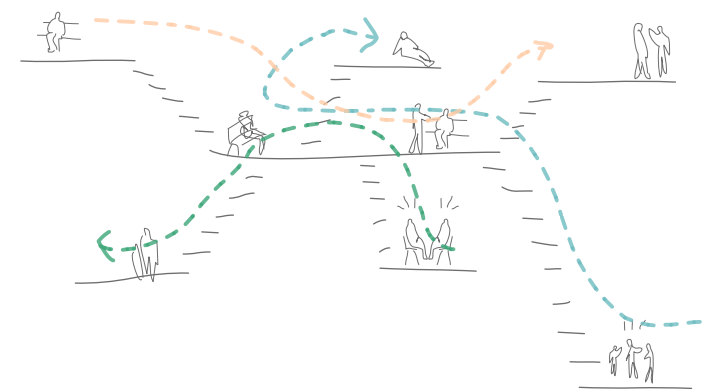
基本計画の反映及び葛城市らしい複合施設の実現に向けた建築コンセプトを以下の通り定め、各フロアのレイアウトに反映します。

「ひろば・みち・かけはしが奏でるみんなのまち」

- 〈ひろば〉 改修前のホールは、気持ちよく施設全体を見渡せる「ひろば」とし、来館者の一体感を生む、大きな結節点の役割へと生まれ変わらせます。
- 〈みち〉 歴史街道のように、めぐり歩く「みち」を配することで、来館者は変化に富んだ館内の様子に誘われつつ、自分の居場所を散策することができます。
- 〈かけはし〉 「ひろば」を囲む階段は、すべてのフロアをゆるやかにつなぐ「かけはし」となります。見晴らしの良い「ひろば」を介し、フロアの異なる「みち」を「かけはし」がつなぐことで、来館者の散策範囲が館内〈まち〉全体に広がります。



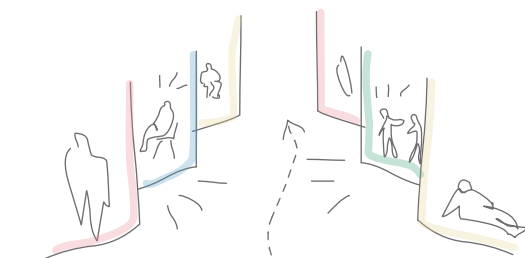
〈ひろば〉
興味を引き寄せたり放ったりする、中心的な空間がある



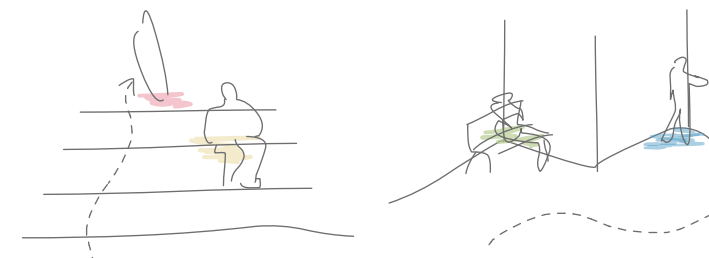
〈かけはし〉
自由に行き来でき、興味がつながる



〈まち〉
賑やかさと落ち着いた空間が共存する



〈みち〉
歩くだけで色んなことに興味が湧いてくる



〈みち〉
自分の好きな場所を選んで、自由に過ごす



風景から学ぶ



開放感



講座



溜まりの空間



ワークショップ



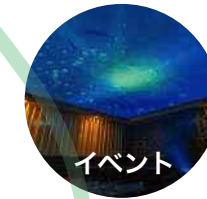
音楽



求心性のある国技館のような場所



ひろば



イベント



レファレンス



居場所



読書

ふらっと腰掛けて佇む



手続き



工作



陶芸



アート



会議



雨でも遊べる



コーヒー

みち



ギャラリー



活動の様子が連なる



ヨガ

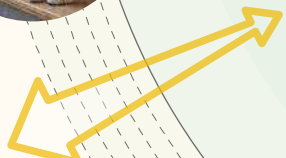


本との出会い

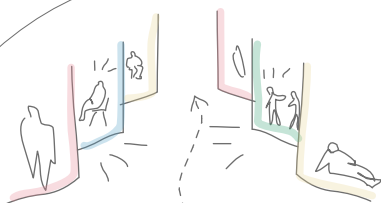
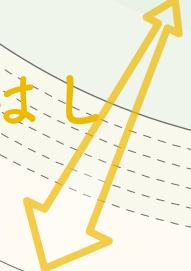
路地を歩く



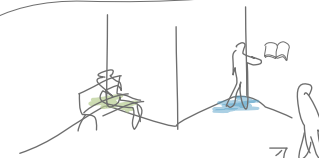
シンボルを眺める



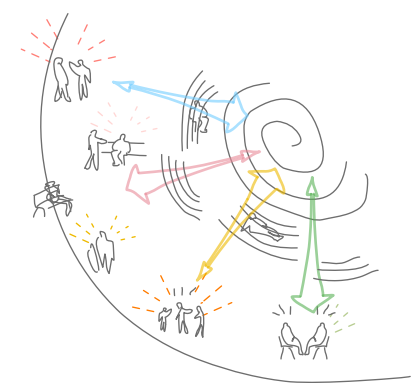
かけはし



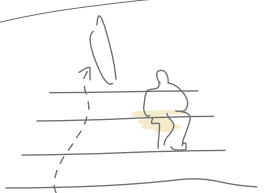
歩くだけで色んなことに興味が湧いてくる



自分の好きな場所を選んで、自由に過ごす



興味を引き寄せたり放ったりする、
中心的な空間がある



自分の好きな場所を選んで、自由に過ごす



盆地を眺める

3階

窓

一つの窓口で多くの手続きが可能となった総合窓口を軸に、行政の相談窓口を集約し、落ち着いて手続きができる場とします。

緩

これまでの機能確保に加え、まちの大人たちにとって、普段とは異なる時間の流れを感じられるような、居心地のよい癒しの場づくりを意識します。

2階

学

様々なものが吸収できる学生たちの居場所について改めて考え、新たな気づきや仲間・まちとのつながりが得られる場を新設します。

創

生活をいより豊かにする創作や芸術活動を身近に感じ、誰もが参加しやすいと思える運営に応えられるよう、ひらかれた場を目指します。

1階

活

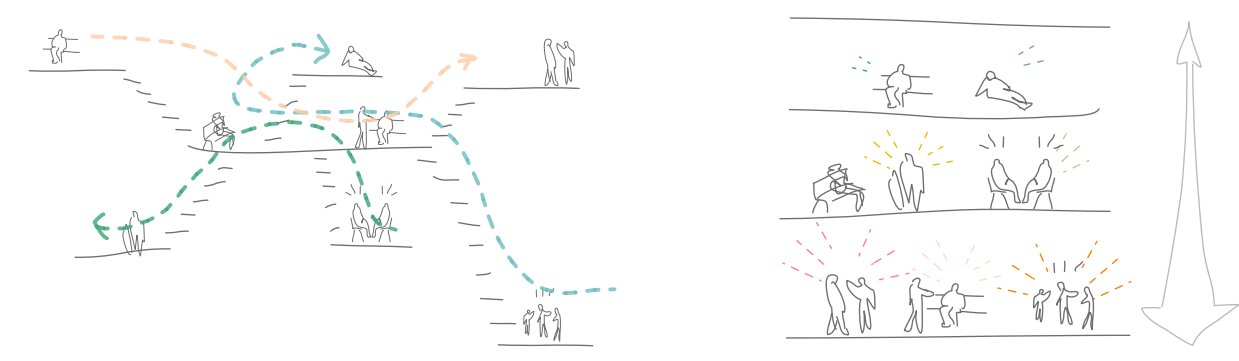
空間の可変性や防音設備にも配慮しつつ、あらゆる自由な活動を支え、まちの活力あふれる様子が肌に感じられる場とします。

迎

まちに住む皆が気軽に訪れたいような、気持ちの良いひらかれた場を目指し、様々なヒト・モノ・コトを迎え入れる場とします。

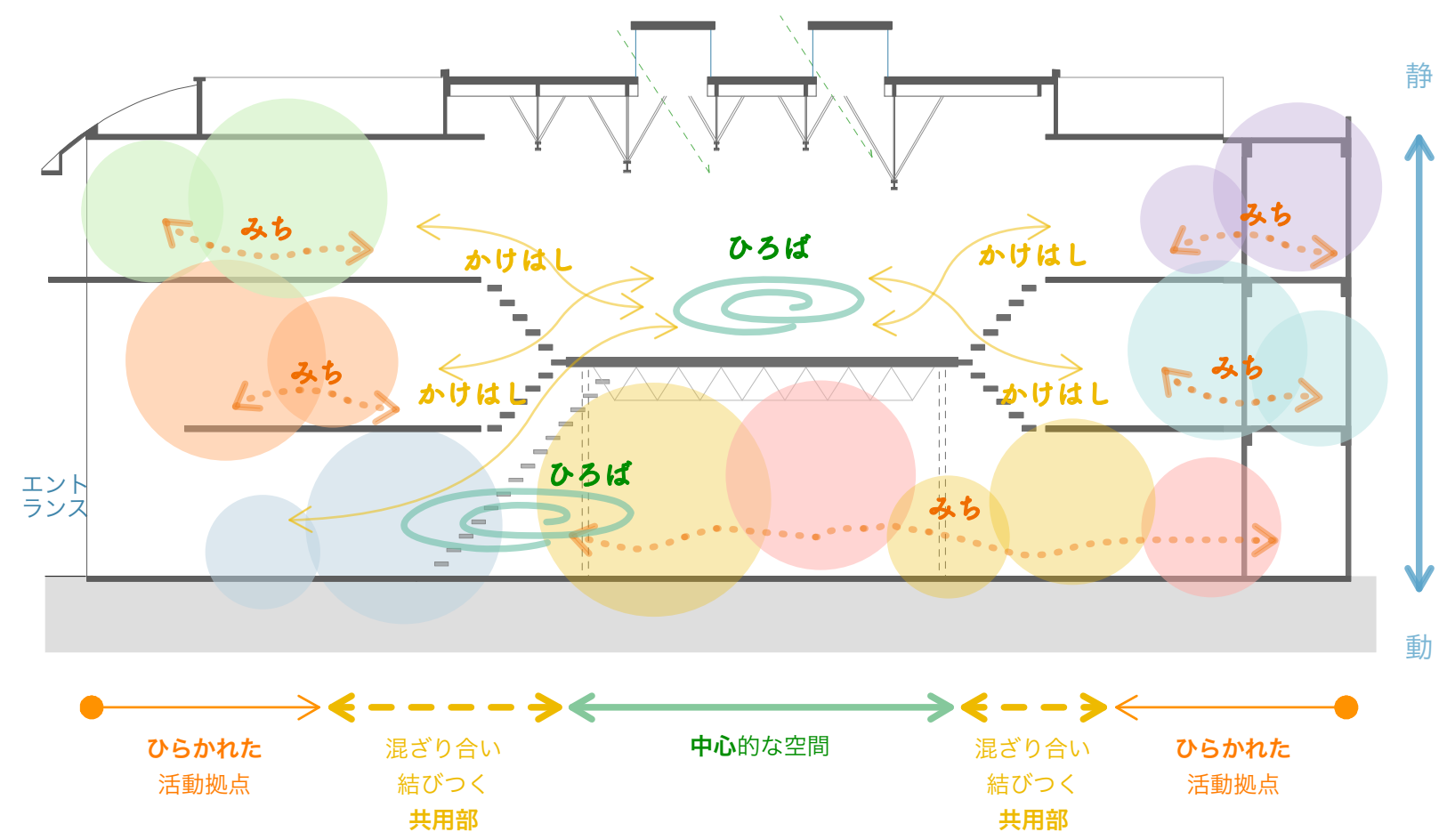
育

これからの子どもたちが、成長に応じた学びの場と結びつきを保てるよう、愉しむことができる環境を入口に、全館を通してまちの大人と共に育める場とします。



自由に行き来でき、興味がつながる

賑やかさと落ち着いた空間が共存する





キッチン
スペース



みんなの
ベンチ

本棚に組み込まれたベンチが
様々な人の居場所となります。
大階段の下には、おはなしの
部屋が納まります。



おすすめ
図書
コーナー



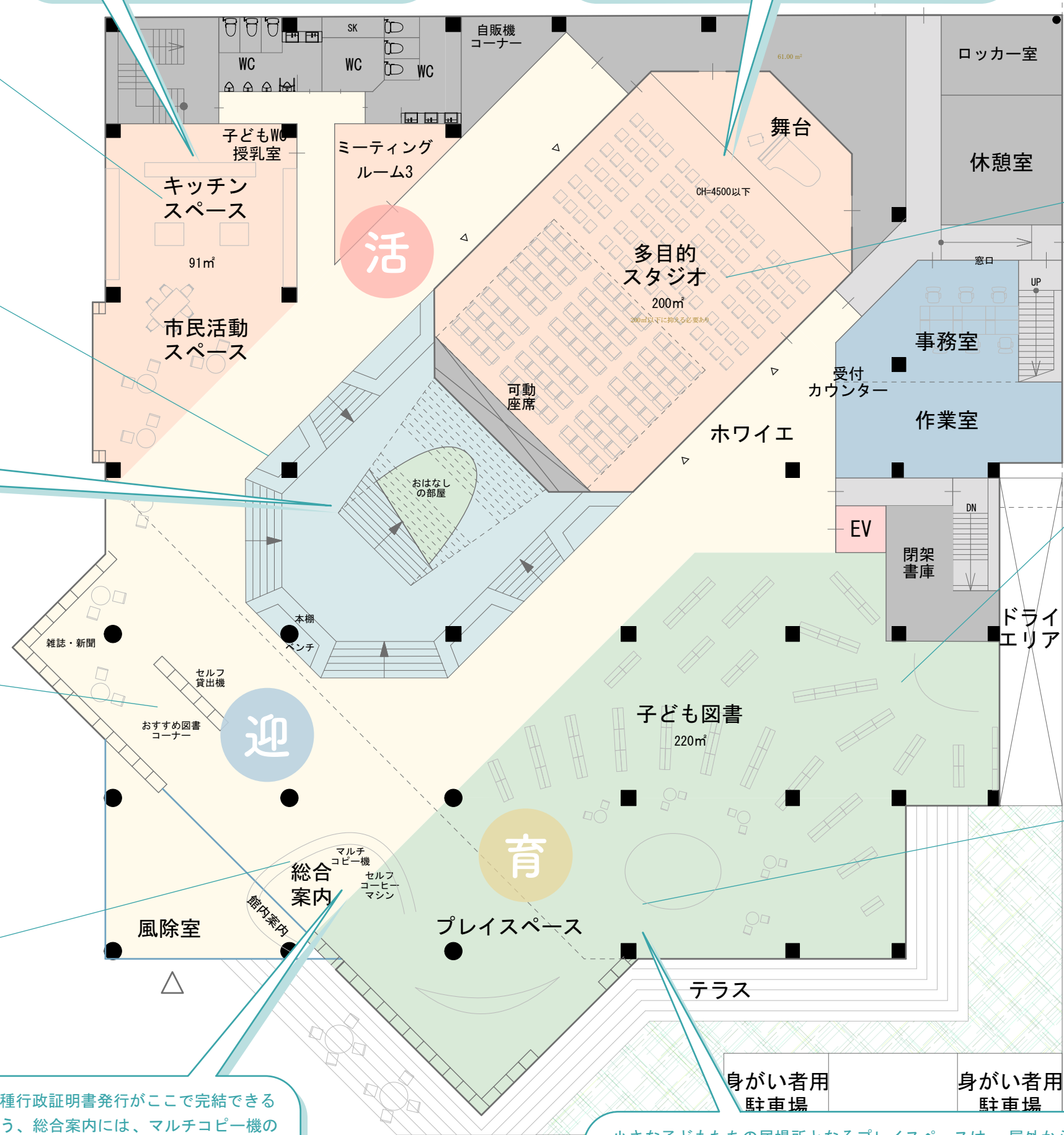
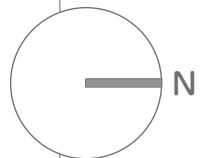
受付
カウンター

各種行政証明書発行がここで完結できる
よう、総合案内には、マルチコピー機の
設置を検討しています。

開かれた市民活動スペースと連携しやすい位置に
配置したキッチンスペースは、多目的スタジオと
併せて災害時にも活躍します。

最大200人を収容する多目的スタジオは、フラットに
して大空間とすることや4つに区切って少人数向け
の防音室とすることができます。

適応指導教室からの段差の
ない動線に配慮します。



多目的
スタジオ



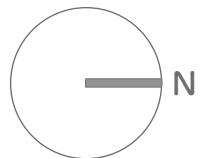
子ども
図書館



子どもの
居場所



小さな子どもたちの居場所となるプレイスペースは、屋外からもその様子が感じ
られます。子ども図書に隣接することで、本と出会うきっかけをつくります。



グループワーク

グループワークスペースでの個々の活動の成果を、隣り合う共用活動スペースで共有することができます。



軽運動



様々な利用シーンを想定した閲覧席を確保します。図書館に滞在する時間を心地よく過ごせます。



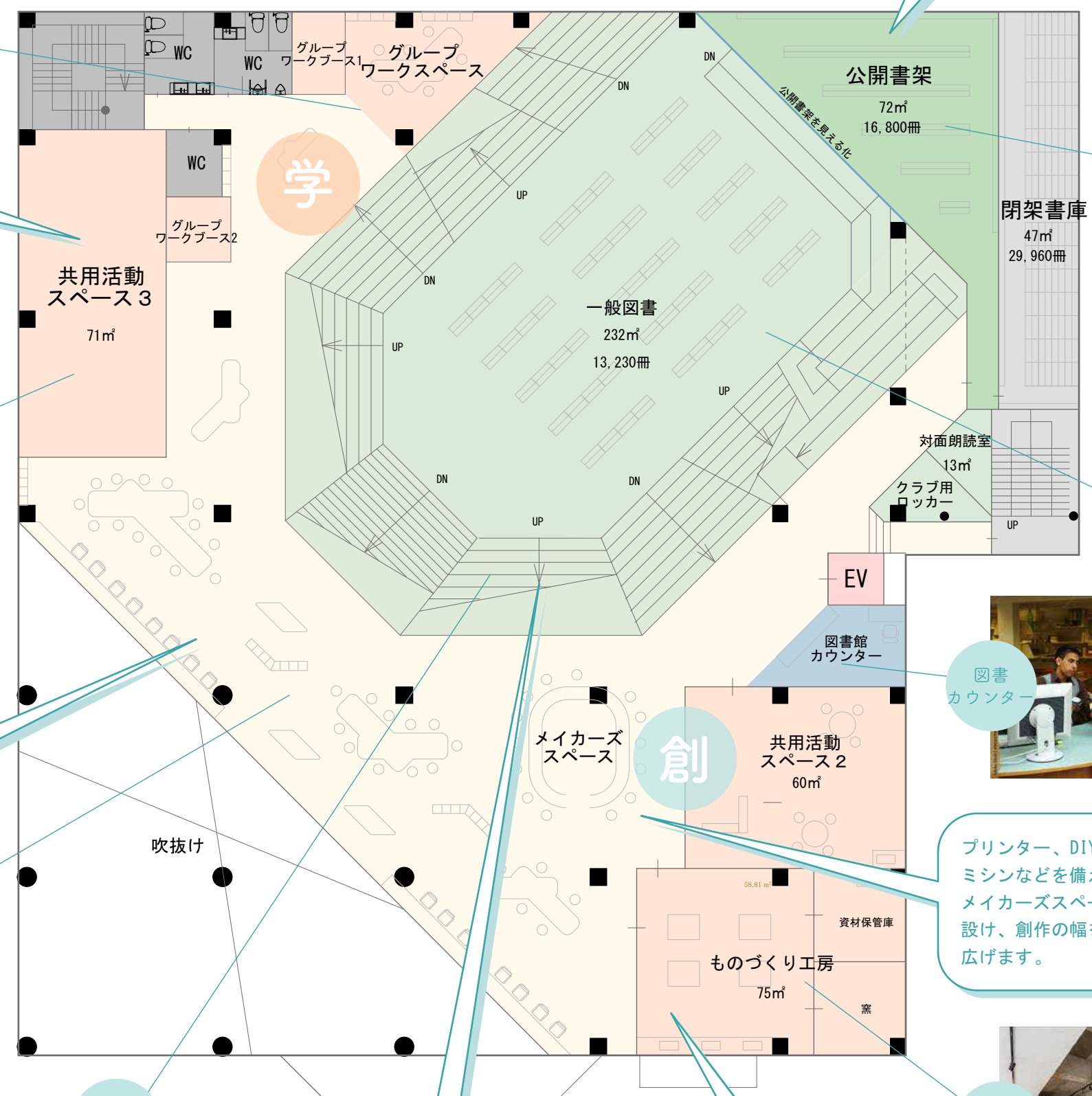
みんなの閲覧席



様々な閲覧スペース



学



書庫の中に入って本を探すことができます。



公開書架



開放感のある開架



図書カウンター

プリンター、DIY道具、ミシンなどを備えたメイカーズスペースを設け、創作の幅を広げます。

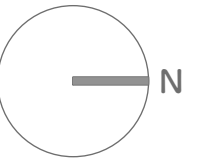


創作系の部屋



「かけはし」となる階段は、各階をつなぐ散策路となるだけでなく、座って話したり、本を読む場所にもなります。

創作系の部屋は、外から活動の様子が見え、見る人の興味を惹き、創る人の意欲を高めます。



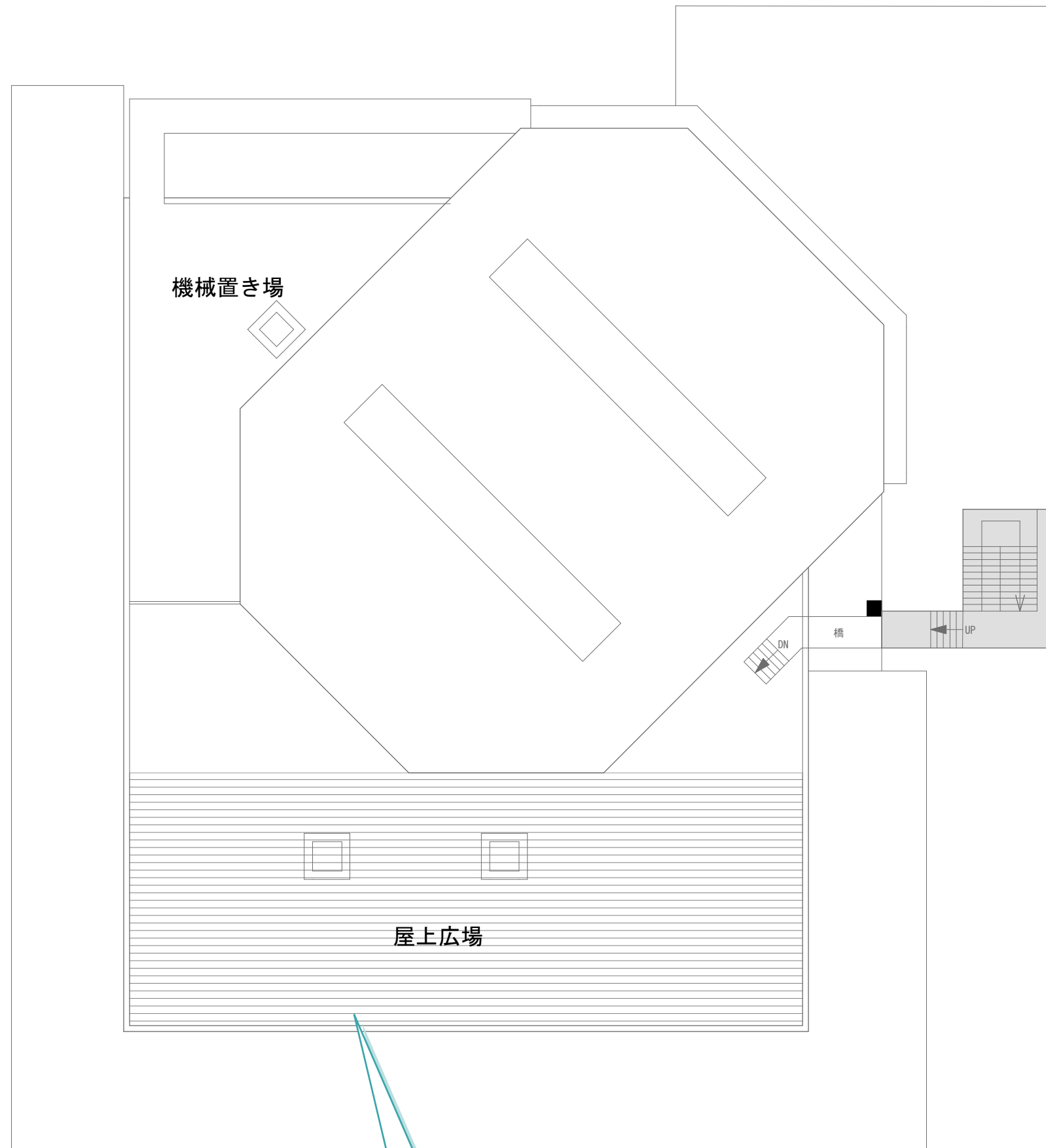
花火鑑賞



山並み



天体観測

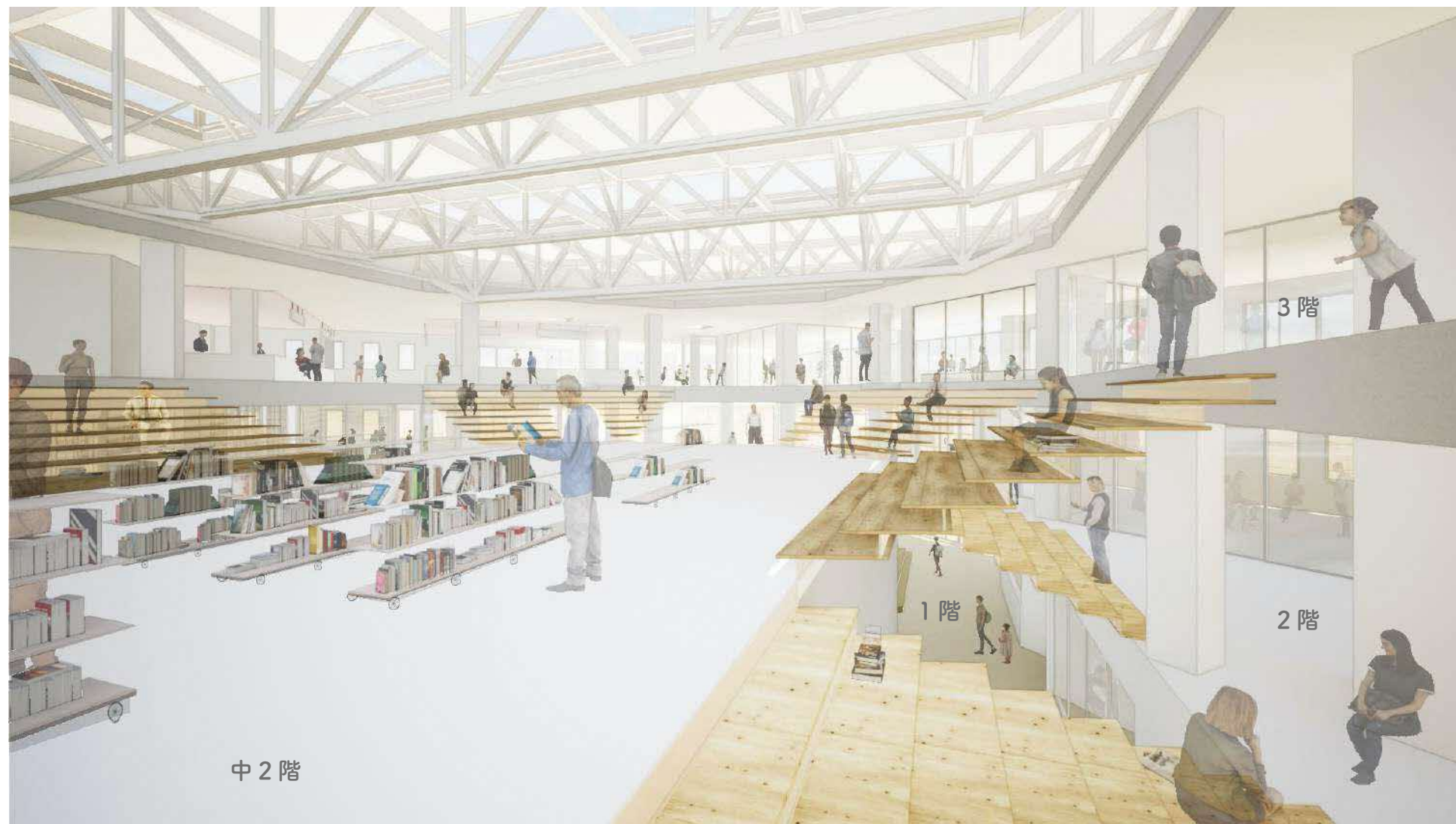


ビュー
スポット



大和平野

眺めが良く、手すりが高く安全な屋上を有効活用します。
ヨガや天体観測、スケッチ大会や歴史解説ツアーといった
イベントでの使用が可能です。



(仮称) 當麻複合施設 基本設計「座談会」かわら版

座談会の目的

『地域の子どもたちやまちの大人たちが共に使いやすく
ゆっくり時間が過ごせる場所』をコンセプトに将来にわたって
身近な拠り所となる施設づくりを目指しています。今回の
座談会は新しい複合施設の概要を共有し、この施設でやって
みたいこと、使い方の意見交換を目的として開催しました。
小学生から大人まで幅広い世代に参加していただき模型や動
画、図面を見て施設の特性を理解した上でグループに分かれ
て意見交換を行いました。

得られた意見は、複合施設の改修及び運営に役立てます。

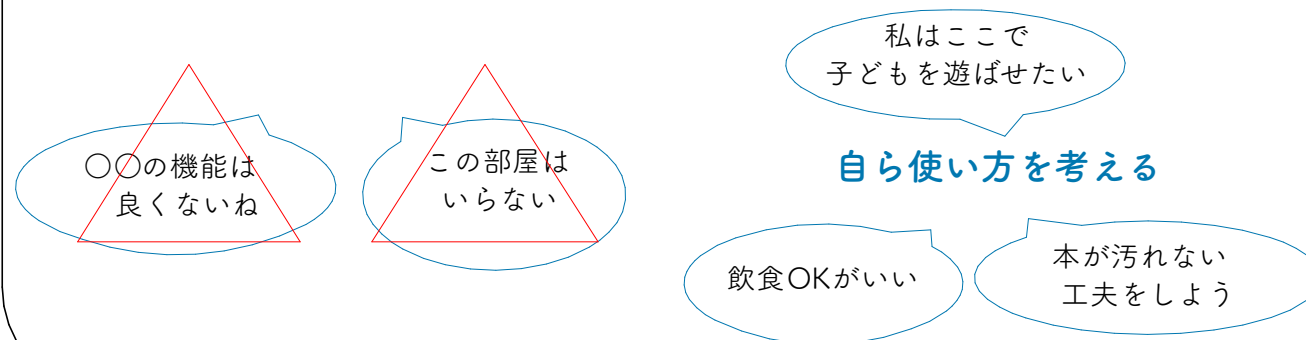
当日の流れ

1. 開会挨拶
2. 進め方・目的
3. 設計案の説明
4. 質疑応答（疑問点の解消）
5. 休憩
6. ステップ説明（目的の再確認）
自己紹介
7. ステップ①
「話し合うテーマを決める」
8. ステップ②
「決めたテーマについて
自由に意見交換する」
9. ステップ③
「イメージに近い使い方の
写真を選ぶ」
10. ステップ④
「意見を紹介する」
11. まとめ、閉会挨拶

ルール

意見交換のルール「否定をしないこと」

自分以外のひとを使う施設であることを意識する



参加者

1日目

中学生以下・・・21名
高校生・・・2名
20~40歳・・・12名
40~60歳・・・10名
60歳～・・・3名

計48名

2日目

20~40歳・・・3名
40~60歳・・・1名
60歳～・・・21名

計25名

「座談会」意見交換の進め方

① 話し合う テーマを決める

グループ内で話したい
テーマを自由に決める

自由に決めたテーマ
or
右の中から選ぶ

A 親子連れにとって使いやすい施設とは？

C 不登校児にとっての良い距離感の複合施設とは？

E 複合施設に取り入れられる伝統文化、産業は？

G どんな場所であれば学生が来たくなる？

B あなたにとってのサードプレイス（自宅と職場・学校との中間的な場所）は？

D 自分が楽しんでいるもので他の人に伝えたい活動はありますか？

F 他県の人々が引っ越したくなる魅力的な施設とは？

H 自分が市民ボランティアとして施設に関わるためには？

② 決めたテーマについて自由に 意見交換する

意見交換の内容をポスト
イットに書いて平面
図に貼る

写真を使い議論して良い

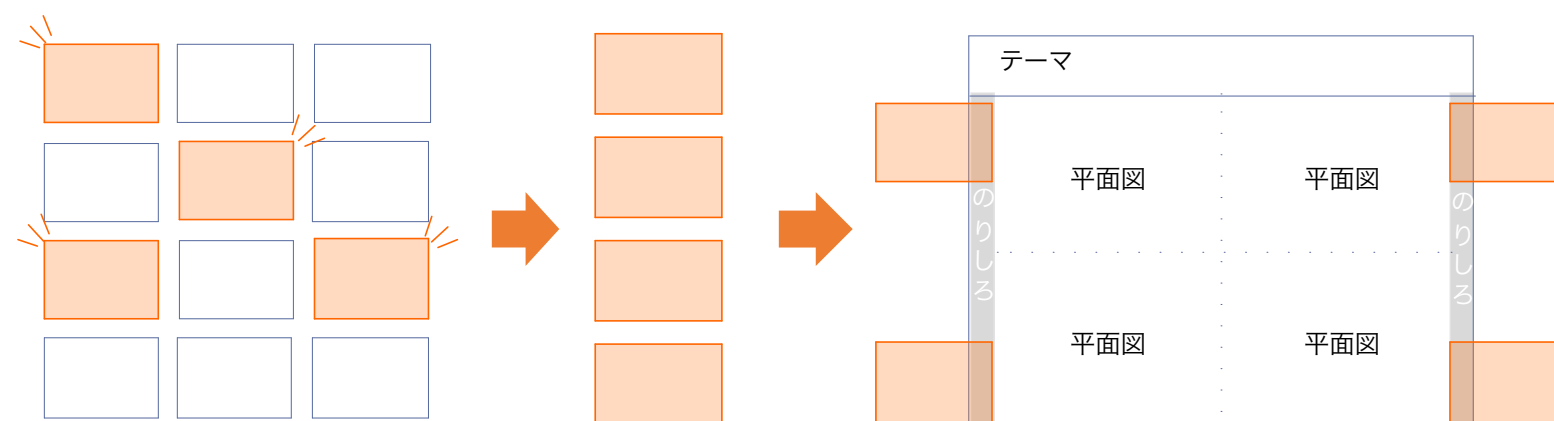
例えば ...

- ・こんな使い方どうですか？
- ・こんなイベントはどうですか？
- ・〇〇〇〇について知っていますか？
- ・〇〇〇〇についてどう思いますか？

- ・平日と休日の使い方は？
- ・施設に必要なルールは？
- ・なんのイベントがあったら来る？
- ・子どもと行くならなににする？
- ・誰と情報交換したい？
- ・暇なときはどうしてる？

③ イメージに近い 使い方の写真 を選ぶ

イメージに近い写真を
貼る



④ 意見を紹介する

テーマと意見交換の内容を全体に紹介する

グループで出た意見をみんなで共有(1日目)

障害のある人もない人も
グループA テーマ：安全で楽しく使いやすい施設



● 1F

- ・洋式便器の数を多くして欲しい。
- ・ろう協会の会議室を作って欲しい。
- ・災害時や聴覚障害者のため点字や字幕サイン。
- ・同時に別のグループ活動ができる場所に。
- ・手話を広げるため、多目的スタジオを使いたい。
- ・保健室のような部屋を作って欲しい。
- ・ピアノ(アップライト)を設置して欲しい。

● 3F

- ・子どもたちが階段手すりで遊ばないよう工夫が必要。
- ・全てバリアフリーで作りたい。
- ・3F窓口で音声案内だけでなく、モニターの案内も行なってほしい。

● 2F

- ・子ども達が走り回り階段から落ちたりぶつかったりするのではないかな。
- ・車椅子の乗っている人が1人で中二階にいけるようにして欲しい。
- ・照明を明るくし、スペース利用時も手話や人の動きが見るように。
- ・予約システムについて説明して欲しい。先取りでは問題あると思う。

● RF

- ・お年寄りや障がい者でも利用できるようなエレベーターの設置を検討してほしい。
- ・屋上に人数制限はあるのか。
- ・車椅子は屋上を利用できるのか。

グループB テーマ：どんな使い方をしたいか



● 1F

- ・ランチスペースがあるといい。
- ・地元の食材を使った食堂が欲しい。
- ・パン屋を設けて欲しい。
- ・スイーツショップを設けて欲しい。
- ・本の読み聞かせなどをおこなって欲しい。
- ・プラネタリウムができるようにして欲しい。
- ・カラオケ・ライブ会場を設けて欲しい。
- ・観光案内所を設けて欲しい。

● 3F

- ・自習スペースを設けて欲しい。
- ・休憩スペースを設けて欲しい。
- ・テレビコーナーを設けて欲しい。
- ・自動販売機を設置して欲しい。
- ・マッサージチェアを設置して欲しい。

● 2F

- ・運動スペースを設けて欲しい。
- ・地域の歴史博物館を設けて欲しい。
- ・イベントを行いたい。
- ・電子機器をレンタルができるようにして欲しい。
- ・夜間も利用できるように欲しい。
- ・図書館に参考書を置いて欲しい。

● RF

- ・自然と触れ合いたい。
- ・ペットも一緒に利用したい。
- ・望遠鏡を設けて欲しい。

グループで出た意見をみんなで共有(1日目)

県内県外問わず親子連れや
グループC テーマ： 学生にとって魅力的な施設



● 1F

- ・トイレや授乳室を複数箇所設置して欲しい。
- ・談話スペースを設置して欲しい。
- ・イベント教室を開催をして欲しい。
- ・飲食施設を設置して欲しい。
- ・葛城市の物産品コーナーを設置して欲しい。
- ・コンビニを併設して欲しい。
- ・電子機器も利用可能な自習スペースを設置して欲しい。

● 3F

- ・子ども遊べるスペースを設置して欲しい。
- ・年齢を問わず学生が利用できるスペースを増やして欲しい。

● 2F

- ・放課後や仕事終わりに集まれるスペースを設置して欲しい。
- ・電子機器がレンタルできるスペースを設置して欲しい。
- ・10年後、20年後も古さを感じないデザインにして欲しい。
- ・温かみのある、気軽に利用しやすい雰囲気にして欲しい。

● RF

- ・屋上でコンサートやフォトコンテストなどの定期的なイベントを開催
- ・屋上からの景色をSNSを活用して拡散

グループD テーマ：家族連れにとって使いやすい施設とは？



● 1F

- ・マルシェやイベントを開催して欲しい。
- ・子どもがゆっくりできる場所が欲しい。
- ・子ども向けワークショップを行って欲しい。
- ・スイーツなどのお菓子の販売をして欲しい。
- ・離乳食や幼児食を販売して食べられる場所が欲しい。
- ・おもつ替えがしやすい明るいトイレを設置して欲しい。
- ・吹奏楽や太鼓など発表の場が欲しい。

● 3F

- ・リモートワークスペースが欲しい。
- ・託児スペースがあると安心して働くことができるので、保育士を配置して欲しい。
- ・ミルクのお湯を使えるようにして欲しい。
- ・ベビーカーが行き来しやすい空間にして欲しい。
- ・子ども用トイレが欲しい。

● 2F

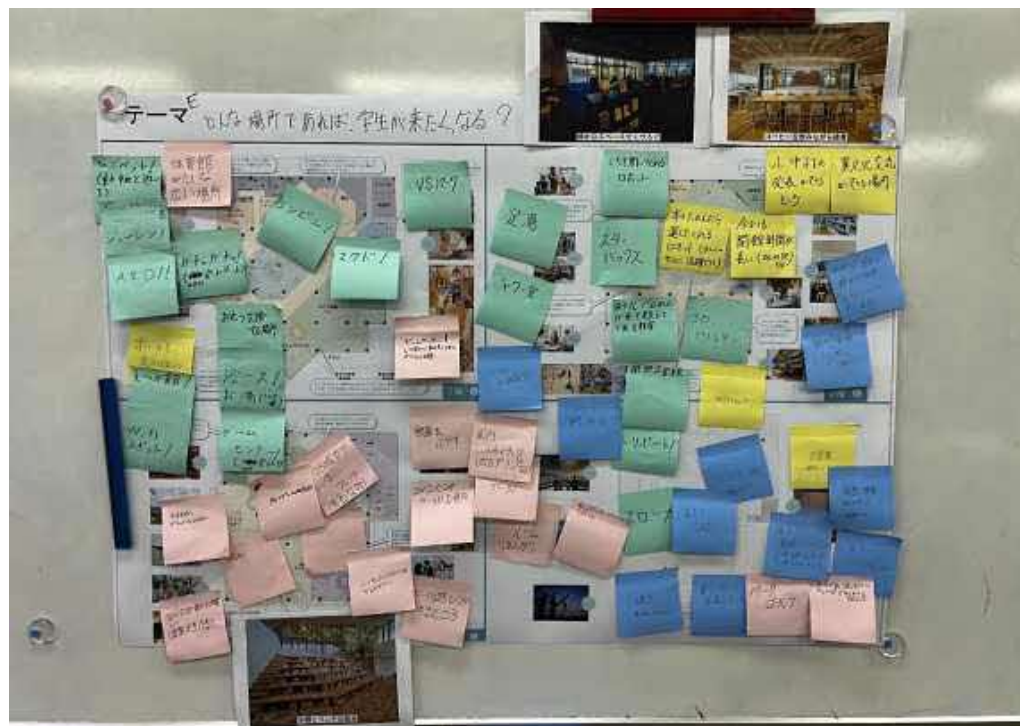
- ・3Dプリンタを設置して欲しい。
- ・子どもと一緒にものづくりができる場所にして欲しい。
- ・ちょっとしたテーマで好きな様に集まったりする場所が欲しい。
- ・座談会を定期的で開催して欲しい。
- ・従来の学校とフリースクールのいいところ取りのような場所にして欲しい。

● RF

- ・屋上の花火など大賛成。
- ・休憩ができる様に屋根が欲しい。
- ・水あそびができる場所や足湯があると楽しいと思う。

グループで出た意見をみんなで共有(1日目)

グループE テーマ：どんな場所であれば学生が来なくなる？



● 1F

- ・体育館のような広い場所が欲しい。
- ・ホールを大きくしたい。
- ・飲食スペースが欲しい。
- ・コンビニを併設して欲しい。
- ・Wi-Fiをつけて欲しい。
- ・おむつを交換できる場所が欲しい。

● 3F

- ・葛城市や當麻について紹介する場所。
- ・文房具が購入できる場所が欲しい。
- ・DVDが見れるスペースが欲しい。
- ・ボール遊びができるスペースが欲しい。
- ・娯楽施設を追加して欲しい。(ゲームスペースなど)

● 2F

- ・3Dプリンターを設置して欲しい。
- ・異文化交流ができる場所が欲しい。
- ・利用可能時間を以前よりも長くして欲しい。
- ・観葉植物を置いて欲しい。
- ・壁全面にホワイトボードが設置された絵の描ける部屋が欲しい。
- ・購買スペースが欲しい。
- ・中高生が発表できる場所が欲しい。

● RF

- ・スロープを設置して欲しい。
- ・写真スポットが欲しい。
- ・屋上に運動できるスペースが欲しい。
- ・イルミネーションなどのイベントをして欲しい。
- ・双眼鏡、望遠鏡を設置して欲しい。
- ・楽器演奏ができるスペースが欲しい。
- ・屋上をもっと広くして欲しい。

グループF テーマ：みんなが使いやすい



● 1F

- ・市役所を1階にして欲しい。
- ・市役所と他の空間を分けるべき。
- ・奈良県の特産品販売をして欲しい。
- ・パンや軽食の販売をして欲しい。
- ・舞台をもう少し広くして欲しい。
- ・舞台にスクリーンをつけて欲しい。
- ・医療クリニックを設置して欲しい。
- ・入口に蓮花ちゃん(葛城市のマスコット)を設置して欲しい。

● 3F

- ・階段に座るのは不清潔
- ・空間を区切って欲しい。
- ・広い自習スペースが欲しい。
- ・静かなスペースをもっと広くして欲しい。
- ・エレベーターを増やして欲しい。
- ・高齢の人が使いやすい施設にして欲しい。
- ・施設の中に植物を置いてほしい。

● 2F

- ・観光客の人も寄りたくなるような施設にして欲しい。
- ・小中学生向けのイベントをして欲しい。
- ・観光客誘致のための看板を設置して欲しい。
- ・広い共有活動スペースが欲しい。
- ・一般図書のスペースをもっと広くして欲しい。
- ・図書カウンターを一般図書と合体して欲しい。
- ・ウォータークーラーを各階に複数設置して欲しい。

● RF

- ・会話がしやすい椅子が欲しい。
- ・屋上から全方向の景色が見たい。
- ・広くして欲しい。
- ・夏祭りや花火大会は時間関係なく開放して欲しい。
- ・フォトスポットが欲しい。
- ・屋上に庭園を作ったらすてき。
- ・屋上に直接上がれる階段が欲しい。

グループで出た意見をみんなで共有(2日目)

親子連れ高齢者、若者すべての人が活用し
グループA テーマ： やすく愛される会館に！



● 1F

- ・ミーティングルームが少ない。
- ・おはなしの部屋を落ち着いた部屋にして欲しい。
- ・AVルームはある？
- ・障害者対応、保健室スペースが欲しい。
- ・プレイスペースにも防音措置を行って欲しい。
- ・図書は同一フロアにして欲しい。
- ・防音はどうなっているのか？

● 3F

- ・教科書をチェックするスペースが欲しい。
- ・幼児、こども、大人、高齢者、あらゆる人にとって使いやすい、やさしい施設にして欲しい。
- ・保健スペースが欲しい。
- ・自習スペースが欲しい。

● 2F

- ・階段を安全にして欲しい。
- ・バリアフリーにもっと対応して欲しい。
- ・スロープは高齢者たちに悪いと思う。
- ・スロープは足腰に悪いと思う。
- ・高齢者に階段は無理だと思う。
- ・自習スペースの机にライトが欲しい。

● RF

グループB テーマ：多世代で楽しめる施設



● 1F

- ・貸し室を無料にして欲しい。
- ・自動コーナーの受付カウンターの職員が常にこどもの動きをみておけるようにして欲しい。
- ・エレベーターの位置、こどもに近いと思う。
- ・一階に貸し出しカウンターが欲しい。
- ・プレイスペースと図書の間は？
- ・子ども図書にも落ち着いて本を読むコーナーが欲しい。

● 3F

- ・老人が集い、人と人の関わりを持つための部屋が欲しい。
- ・老人に階段は困難だと思う。
- ・地域包括課は必ず入って欲しい。

● 2F

- ・1Fから中二階へ多い階段は危険いっぱい、転落する恐れがあると思う。
- ・会議室も多くして欲しい。
- ・大人の図書とこどもの図書を一緒にして欲しい。
- ・子どもと大人が楽しめる空間が欲しい。
- ・管理運営を市の直営にして欲しい。

● RF

- ・夜間開館を19：00までにして欲しい。

グループで出た意見をみんなで共有(2日目)

グループC テーマ:



● 1F

● 2F

- ・保存できる場所はあるか？(作品の保存)

● 3F

- ・安全第一で運営して欲しい。
- ・階段を椅子にすると、つまづいたときに下の人が危ないと思う。
- ・階段の高さが低い方が危ないと思う。

● RF

グループD テーマ: 末永く 誰にでも親しめる施設 (高齢者や障害者にも使い勝手が良い)



● 1F

- ・トイレを各階南面だけではなく北側にも設置して欲しい。
- ・大道具が入るエレベータを入口付近に設置して欲しい。
- ・プレイスペースと出入口が近く、勝手に子どもが出ていく可能性がある。
- ・1階にも図書検索システムを導入して欲しい。

● 2F

- ・階段が多い施設でなくバリアフリーにして欲しい。
- ・2~3Fの子どもが転落するリスクはないのか。
- ・子どもは階段やスロープが多いと喜ぶ。
- ・若者と年配者が一緒に楽しめるイベントが欲しい。

● 3F

- ・スポーツセンターが欲しい。
(ダンスやフィットネス活動)
- ・授乳スペースが必要だと思う。
- ・Wi-Fi利用ができるようにして欲しい。
- ・畳スペースは2階にあったほうがいいと思う。

● RF

- ・公民館機能を充実させて欲しい。
(無料で気軽に利用できる)
- ・花火大会の時に収容人数を超えるのではないかな。

グループで出た意見をみんなで共有(2日目)

グループE テーマ:



● 1F

- ・スタジオは2Fに、中二階の図書館を入れ替えて欲しい。
- ・1Fのスペースにカフェ喫茶店を作って欲しい。
- ・子どもトイレ、大人のトイレも増やして欲しい。

● 2F

- ・中二階は、階段が登にくく、一般図書館にいけない高齢者が多いため、高齢者が使用できる図書館を1Fにして欲しい。

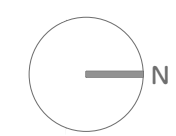
● 3F

● RF

- ・屋上に上られるのは階段だけなので、エレベーターをつけて欲しい。

設計案への意見・要望まとめ

設計案へのご意見や要望事項をエリアごとに整理し、分析しました。
(市民座談会の他、各種団体、市議会、職員からのヒアリングを含む)



- トイレ
 - ・子ども用トイレがほしい。
 - ・おむつを交換できる場所がほしい。
 - ・ミルクのお湯を利用できる授乳スペースが必要だと思う。
 - ・洋式便器の数を多くしてほしい。
 - ・トイレの数を増やしてほしい。
 - ・障がい者の利用に配慮してほしい。

店舗が参入した場合の想定が必要です。

- 市民活動
 - ・飲食スペースがほしい。
 - ・放課後や仕事終わりに立ち寄れる場所を設置してほしい。
 - ・ちょっとしたテーマで好きなように集まったりする場所がほしい。
 - ・離乳食や幼児食を販売して食べられる場所がほしい。
 - ・カフェがほしい。
 - ・パン屋やスイーツショップを設けてほしい。
 - ・マルシェやイベントを開催してほしい。

活動が重なる重要な場所であることがわかります。

- エントランス
 - ・葛城市や當麻について紹介する場所を設けてほしい。
 - ・1階に貸し出しカウンターがほしい。
 - ・1階にも図書検索システムを導入してほしい。

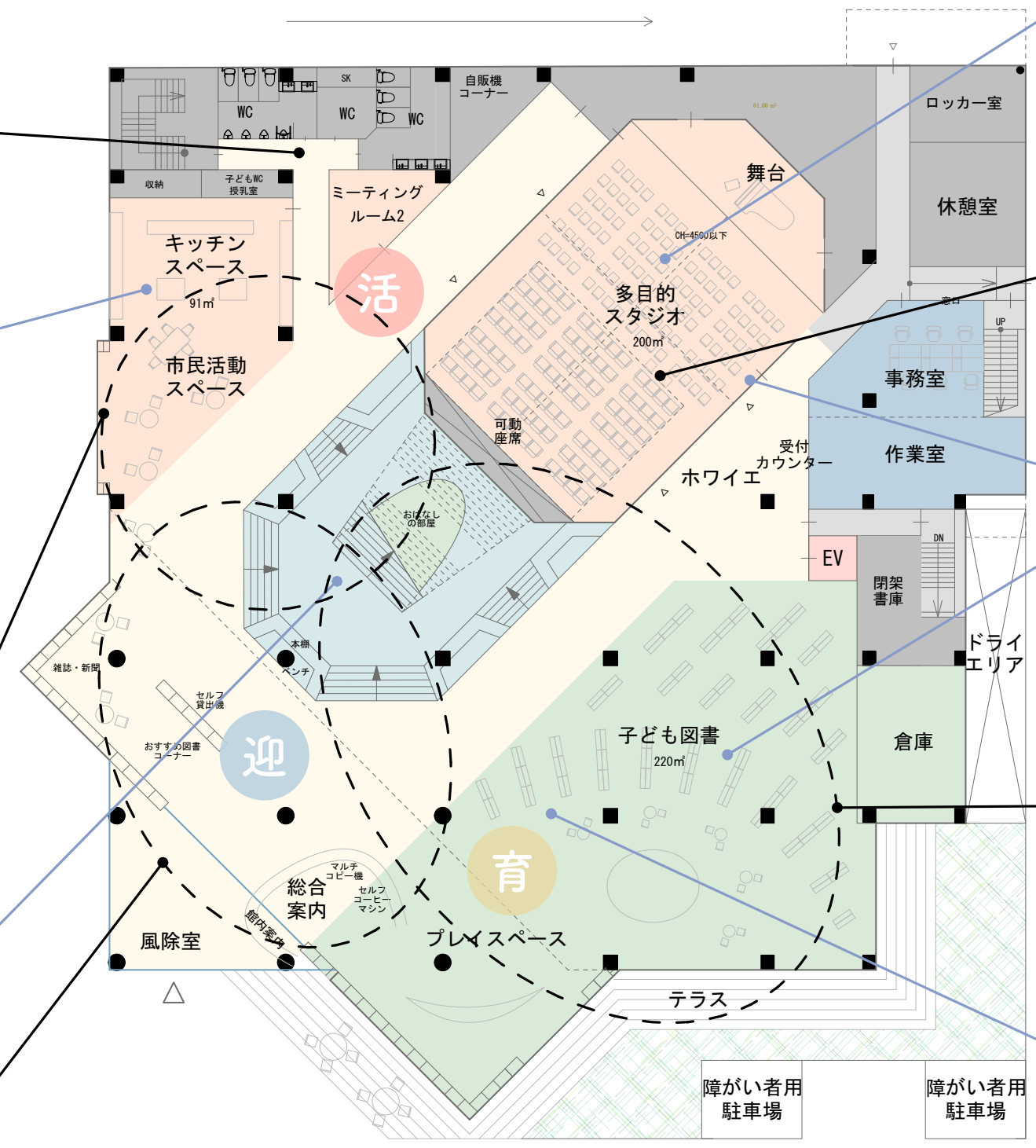
利用の実状を踏まえ、使いやすいしつらえについて検討します。

- 多目的スタジオ
 - ・可動間仕切りでしっかり防音できるのか。
 - ・舞台をもう少し広くしてほしい。
 - ・吹奏楽など発表の場がほしい。
 - ・大道具が入る搬入口を設置してほしい。
 - ・音漏れで他の利用者に迷惑を掛けたくない。
 - ・ピアノを使えるようにしてほしい。

音環境への工夫が必要です。

- 子ども
 - ・子ども図書にも落ち着いて本を読めるコーナーがほしい。
 - ・本の読み聞かせなど行ってほしい。
 - ・子ども図書館と出入口、エレベーターが近いため子どもが出ていく可能性がある。
 - ・職員が常に子どもの動きをみておけるようにしてほしい。
 - ・子ども用トイレや授乳室が近くにほしい。
 - ・プレイスペースも防音にしてほしい。
 - ・子ども向けワークショップをしてほしい。
 - ・おはなしの部屋へのアクセスについてバリアフリー対応が必要。

子どもたちの過ごし方や見守り方に配慮が必要です。



変更後

設計案改善の方針

頂いたご意見等を踏まえ、改善の方針を設計案に反映しました。

●トイレ

- ・子ども図書館の近くにファミリートイレを設け、親子連れにも安心して利用できるようにしました。
- ・授乳室やおむつの交換台を設置し、乳幼児を連れた親子に安心して施設を利用できるようにしました。
- ・トイレ内のレイアウト等、様々な利用者に配慮しました。

●ミーティングルーム2

- <想定される活動の例>
WEB会議・相談会・控え室 など
- <想定中のしつらえ>
掲示クロス、モニター、ロッカー

カフェ出店可能性については調査・検討を続けています。

●キッチンスペース

- <想定される活動の例>
料理教室、ランチスペース など
- <想定中のしつらえ>
キッチン、サブシンク

飲食ができるスペースや、市民が放課後や仕事終わりに気軽に立ち寄れる場所を設けました。

●市民活動

- ・市民が様々なイベントで利用しやすいように、様々な場所で、自由な使い方ができるようにしました。
- <想定される活動の例>
イベント、活動後の打合せ、小規模な発表会 など
- <想定中のしつらえ>
掲示クロス、プロジェクター

●エントランス

- ・気軽に腰掛けられるベンチや椅子を設けます。
- ・多世代を迎え入れる寛容なスペースをイメージしています。
- ・新聞や雑誌等を気軽に楽しめるスペースを設けます。
- ・3階葛城ギャラリーの案内や観光パンフレットコーナーの設置を検討します。

中央の間仕切りをT字に変更し、舞台との一体利用ができるようにします。

舞台を広くし、高さを上げることで客席から見やすくします。

大道具を搬入しやすい入口を設けます。

●多目的スタジオ

- ・ピアノや舞台を使った活動が行いやすいよう間仕切りをT字に変更し、間仕切りで分割中も舞台と一体利用ができる形にしました。
- ・多目的スタジオ周囲の壁や間仕切りの防音性能を高め、共同利用しやすくします。
- ・舞台の高さを1m程度上げたことで、客席から見やすくなるため、階段状の座席をなくし、大きな平面としました。間仕切りを利用中にも自由なレイアウトが可能となります。
- ・入口を西側に設けることで大道具などの搬入をしやすくしました。

- <想定される活動の例>
演劇・研修・吹奏楽・映画鑑賞ピアノ・合唱・カラオケ・フォークダンス・オカリナ・邦楽・琴・ボッチャ・ダンス など
(間仕切りを利用すると小規模な活動や練習で同時利用が可能になります。)
- <想定中のしつらえ>
フローリング・可動間仕切り・音響設備・プロジェクター

子ども図書館エリアの近くに子ども用トイレを設け、親子連れにも安心して利用できるようにしました。

授乳室を設けました。

環境音楽を用いて音のカーテンをつくると、雑音を許容するスペースと、集中力を高めるスペースが共存できると言われています。複合施設の特徴を前向きに活かせるよう、導入について検討しています。

●子ども

- ・子どもの安全面に配慮し、総合案内や受付カウンターから子どもを見守れるレイアウトにしました。
- ・天候に関わらず子どもたちが利用できるプレイスペースを設けます。体を使って遊び方を考えたり、共同作業を体験できるスペースとします。

飛び出し防止や、図書の配架、プレイスペースなどの仕様については、今後の運営方法を踏まえ、検討します。

※この平面図は基本設計時点のものであり、今後変更の可能性があります。

1 階平面図

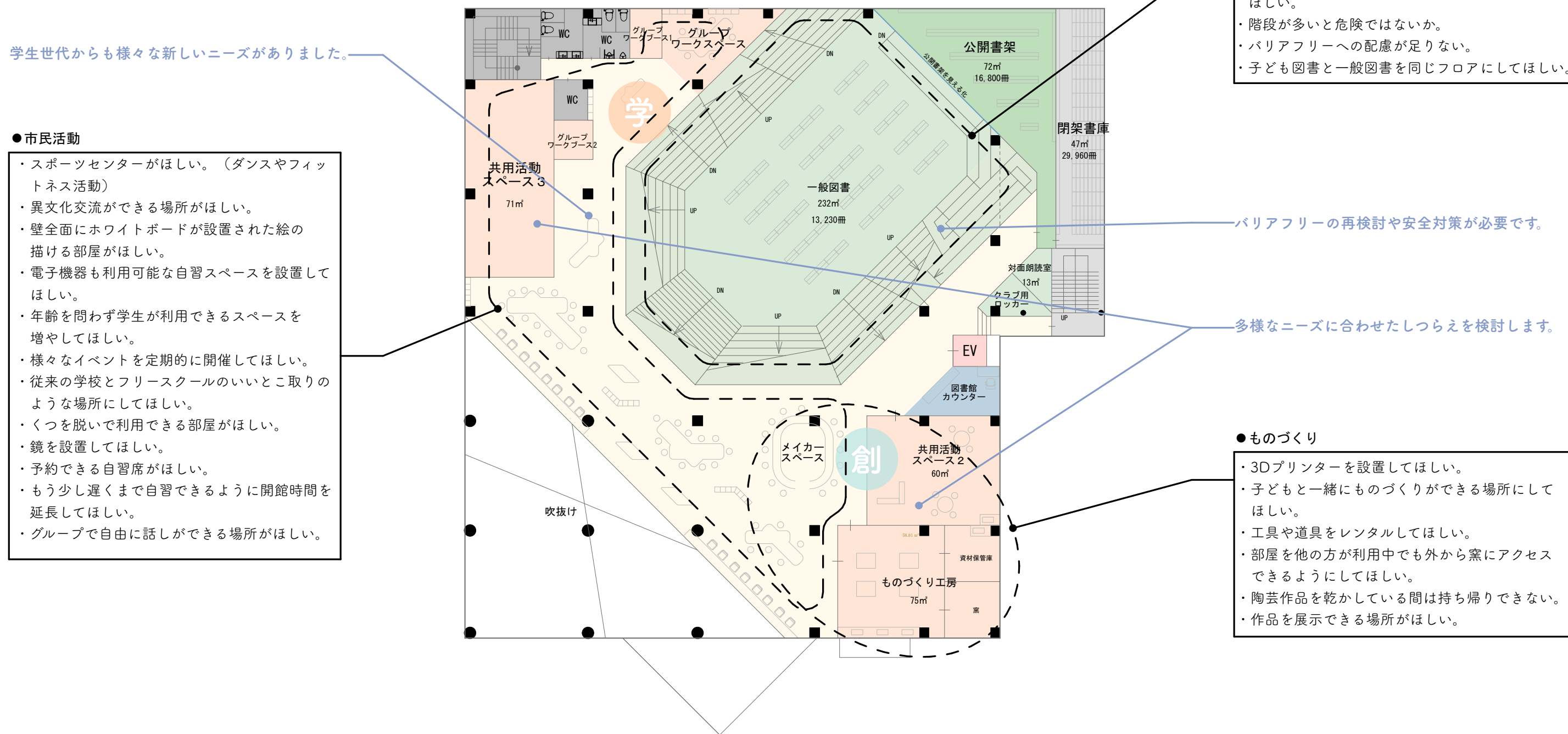
- おはなしの部屋
本の読み聞かせがしやすい
「おはなしの部屋」を設けました。
20人程度収容可能です。

- <想定中のしつらえ>
絨毯、ベンチ、靴箱、
ベビーカー置き場
(靴を脱いだ利用を想定しています。)

職員が常に子どもを見守れるようなカウンターとします。

設計案への意見・要望まとめ

設計案へのご意見や要望事項をエリアごとに整理し、分析しました。
(市民座談会の他、各種団体、市議会、職員からのヒアリングを含む)



変更後

設計案改善の方針

頂いたご意見等を踏まえ、改善の方針を設計案に反映しました。



設計チーム内には、元図書館館長など管理運営の経験豊富なメンバーがいて、快適に利用できる環境づくりを得意としています。その中の一つとして、図書館のセルフ貸出機、部屋の予約システム、室内のデジタル機器等のICTの活用を検討中です！

●グループワークブース・スペース

グループで気軽に利用できるスペースをつくり、コミュニティの醸成を支えます。

＜想定中のしつらえ＞

円卓・ホワイトボードの壁・モニター（グループで利用します。）

●共用活動スペース3

靴を脱いで利用できる多目的な部屋とします。室内の活動の様子を外部から感じられる仕様にします。

＜想定される活動の例＞

ヨガ・玉すだれ・着付け（大人数）・健康体操・マジック講座・ベビーマッサージ など

＜想定中のしつらえ＞

カーペット・鏡・折りたたみテーブル・ホワイトボード・モニター

●市民活動

・吹抜やエントランス、プレイルームの様子を感じられる空間であり、読書や学習、グループ学習も自由にできる空間とすることで、さまざまな活動が融合する空間を目指します。

＜想定される活動の例＞

読書や学習、グループでの学習、活動後の打合せ、小規模なイベント、ものづくり工房との一体利用

仕様については、今後の運営方法を踏まえ検討します。

電源を設置し、パソコンの持ち込みも可能なスペースを設けます。

●メイカースペース

新しい趣味への挑戦や、子どもと一緒にものづくりが楽しめる場所となるよう、みんなで使える工作用具の設置を検討します。

＜想定中のしつらえ＞

3Dプリンター・電動工具・大工道具・ミシン など

●中2階

- ・車椅子利用者や高齢者が図書を利用しやすくするため、エレベーターを設置しました。
- ・図書カウンターは、一般図書と同一フロア内の人の動きや公開書庫に目の届く位置に変更し、利用しやすくしました。
- ・階段部分とベンチ部分を家具や手すりで区切ることで、安全面と衛生面に配慮します。
- ・図書カウンターを、一般図書で変更します。

＜想定中のしつらえ＞

高さを抑えた書架・閲覧席・資料を広げられるテーブル・本や作品の展示スペース・安全対策の手すり

中2階に止まるエレベーターを設けました。

階段の中央の真ん中部分は、ベンチや展示台を設け、上下フロアとの一体感を演出します。

●ものづくり

・創作活動が見えることで、来館者に新たなチャレンジのきっかけをつくります。

●ものづくり工房

＜想定される活動の例＞

創作・陶芸・絵画・日本画・洋画・日曜大工・夏休みの宿題 など

＜想定中のしつらえ＞

掃除がしやすい床・作業用のテーブルや椅子・シンク・陶芸の設備

●共用活動スペース2

＜想定される活動の例＞

書道・俳画・絵手紙・編み物（組紐）・写真・フラワーアレンジメント など

＜想定中のしつらえ＞

掃除がしやすい床・シンク・組み合わせが自由なテーブル

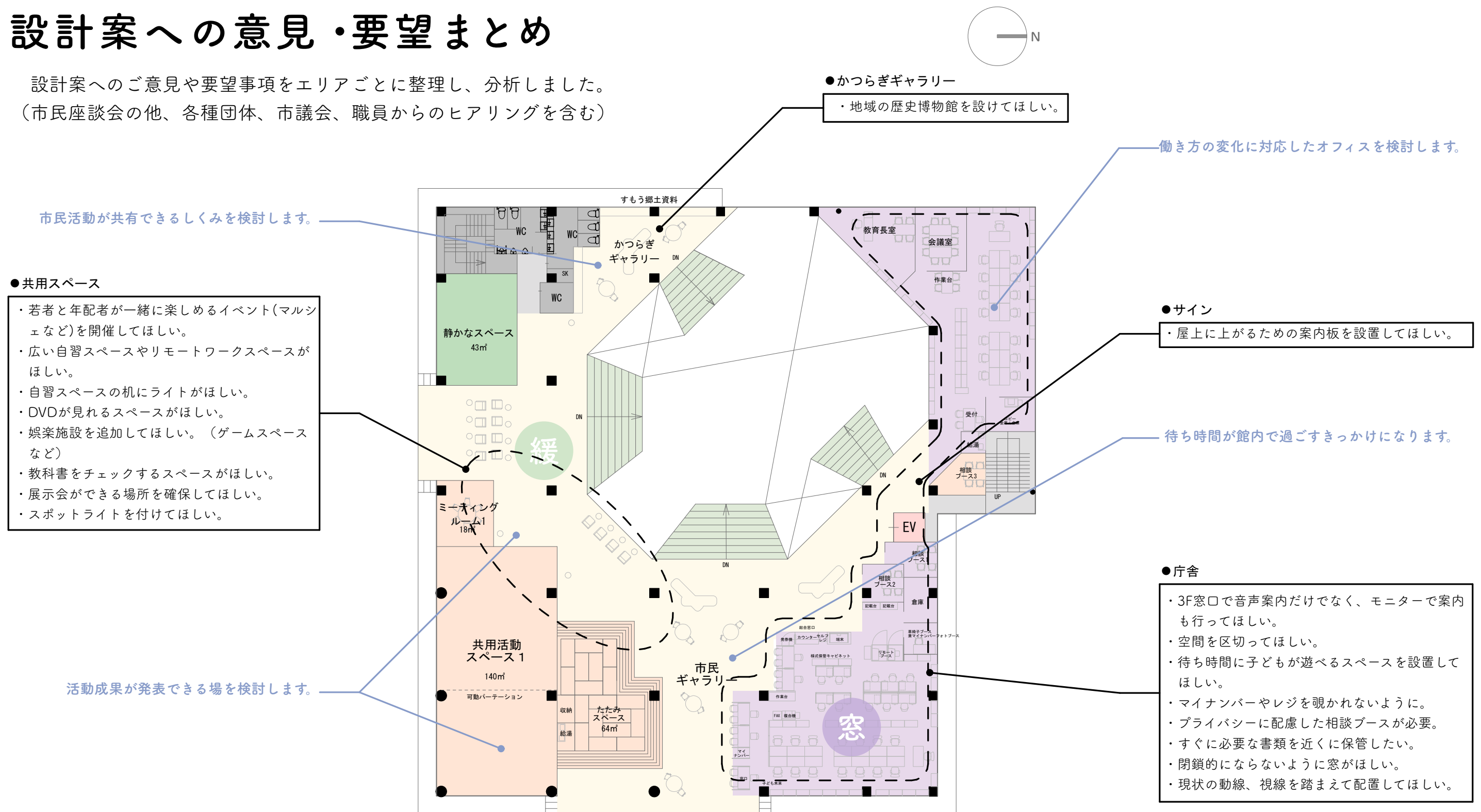
※この平面図は基本設計時点のものであり、今後変更の可能性があります。

2階平面図

变更前

設計案への意見・要望まとめ

設計案へのご意見や要望事項をエリアごとに整理し、分析しました。
(市民座談会の他、各種団体、市議会、職員からのヒアリングを含む)



設計案改善の方針

頂いたご意見等を踏まえ、改善の方針を設計案に反映しました。

携帯やパソコンの使用、おしゃべりを禁止することで静かに落ち着いて読書、学習ができるしつらえにします。

山麓の山並みや空を楽しみながら、リラックスできる居場所とします。

葛城市や當麻の歴史資料や市民活動のアーカイブが展示・発信できるコーナーを設けます。



「リファインング建築」は、耐震壁の移動を伴う大胆な改修方法です。制約の多い条件でありながら、機能を混ぜ合わせ、交流や居場所を生み出すことができます！

緩やかに時間を過ごせる共用部からは、図書館の様子を感じられ、庁舎の待ち時間が館内で過ごすきっかけになるなど、ひと・もの・ことの出会いを促します。

待合には、番号案内用モニターを設置します。

●共用スペース

●ミーティングルーム 1

< 想定される活動の例 >

会議・俳句・囲碁・手話 など

< 想定中のしつらえ >

WEB会議用モニター・ホワイトボード

●市民交流スペース・ホール

市民交流スペース・ホールでは、活動の成果を展示し、訪れた人の目を楽しませたり、活動の輪を広げることができます。

< 想定中のしつらえ >

ピクチャーレール・展示ケース・スポットライト・絨毯・リラックスできる椅子

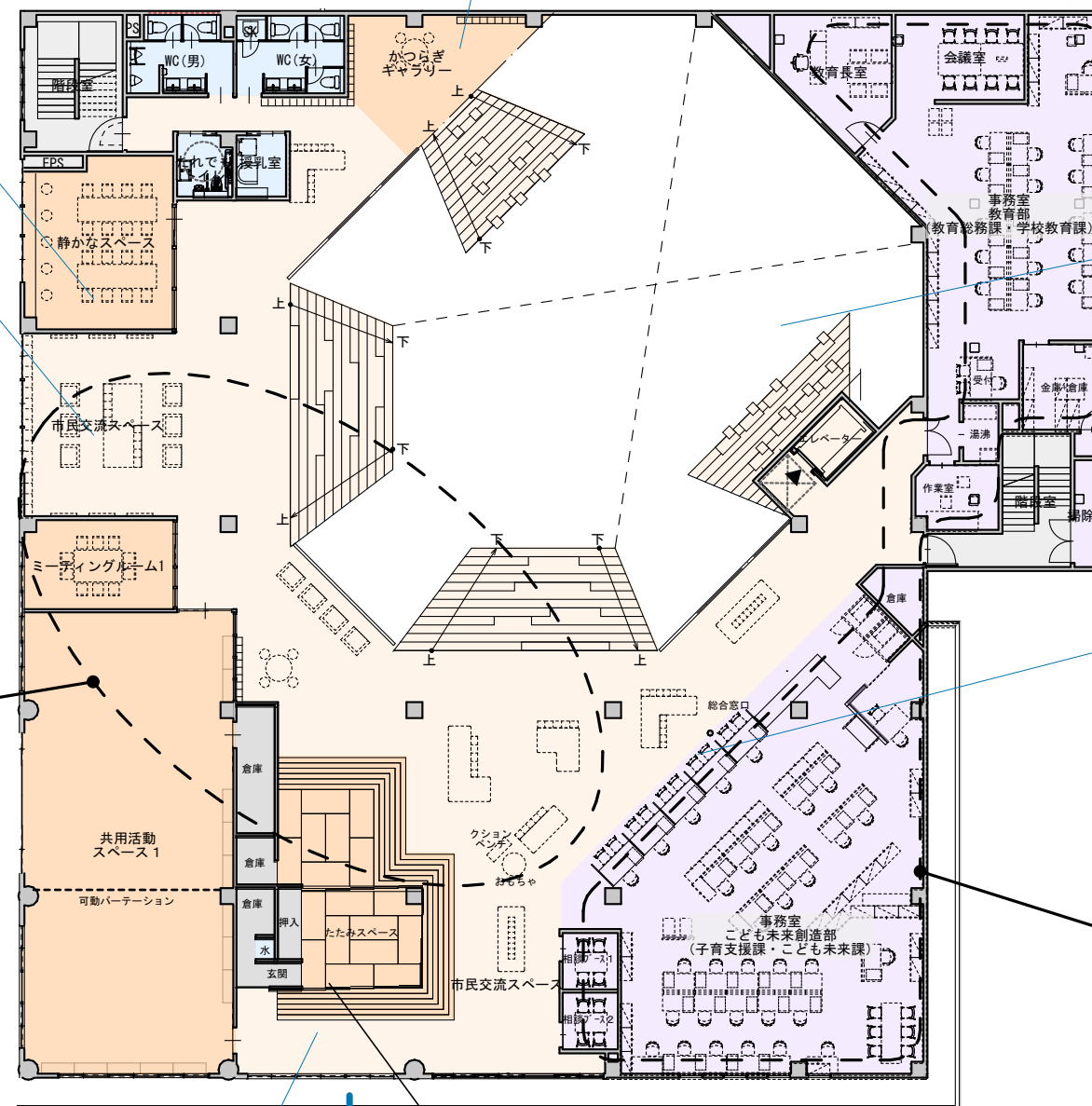
●共用活動スペース 1

< 想定される活動の例 >

会議・研修・相撲甚句・観光ガイド・写真や絵画の展示会 など
(間仕切りを利用すると小規模の活動で同時利用が可能になります。)

< 想定中のしつらえ >

可動間仕切り・マイクセット・プロジェクター・ピクチャーレール・スポットライト



ビュースポット

和室の縁側に腰掛けて、大和平野を眺めることができます。

●たたみスペース

東側の10畳は、個室として利用することができます。活動がない時間帯は来館者が自由に利用できる空間とし、ゆっくり読書を楽しめる空間とします。

< 想定される活動の例 >

茶道・着付け・生け花 など

< 想定中のしつらえ >

畳・水屋・炉・床の間・座椅子・クッション

●庁舎

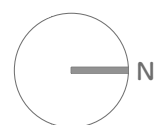
・庁舎の窓口については、市役所内での協議を踏まえ、より分かりやすく、利用者と職員の双方に使いやすい窓口となるよう検討を進めます。また、2人掛けの窓口や相談ブースを設けることで、子ども連れの保護者やプライバシー性の高い相談等にも対応します。

< 想定中のしつらえ >

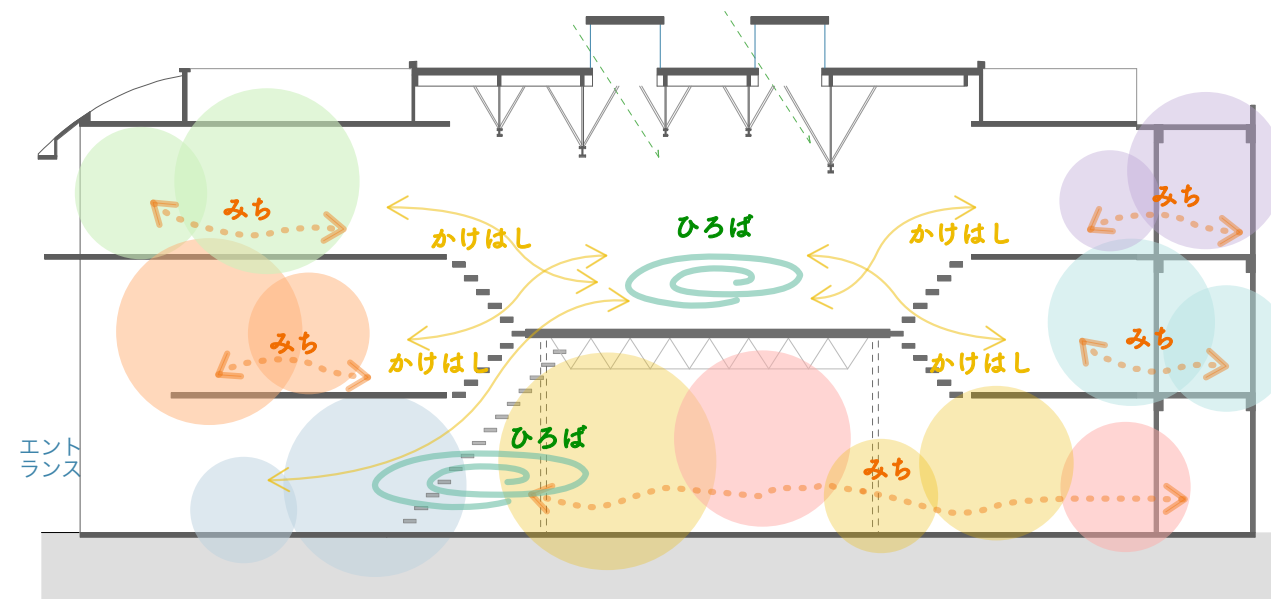
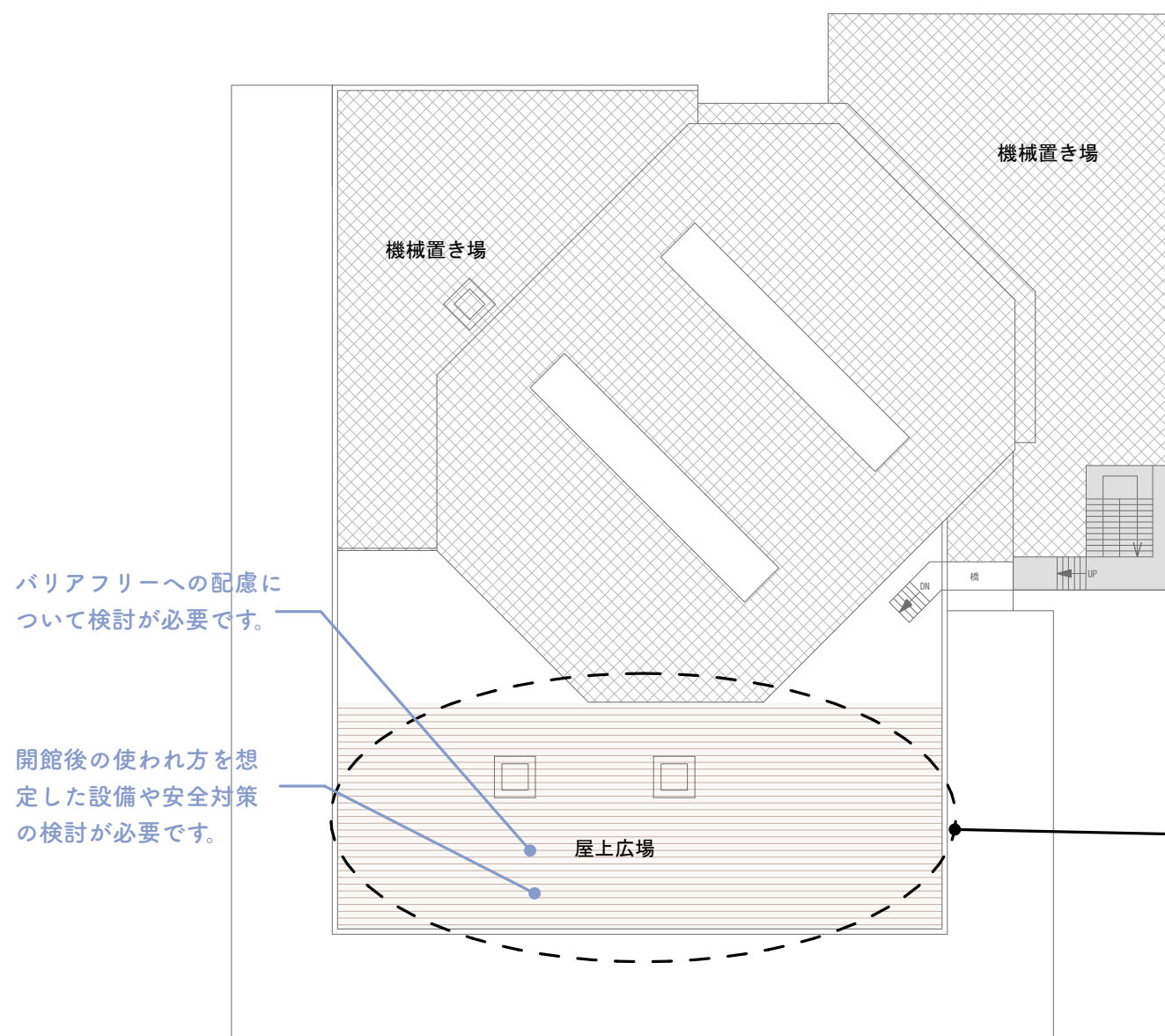
番号案内システム・デジタルサイネージ・WEB会議用モニター・フレキシブルなデスク

※この平面図は基本設計時点のものであり、今後変更の可能性があります。

設計案への意見・要望まとめ



設計案へのご意見や要望事項をエリアごとに整理し、分析しました。
(市民座談会の他、各種団体、市議会、職員からのヒアリングを含む)



断面図

●屋上

- ・屋上で花火鑑賞ができるのは大賛成。その際には時間に関係なく屋上を開放してほしい。
- ・フォトスポットがほしい。
- ・屋上に人数制限はあるのか。
- ・ペットも一緒に利用したい。
- ・望遠鏡を設けてほしい。
- ・屋上に運動できるスペースがほしい。
- ・イルミネーションなどのイベントをしてほしい。
- ・双眼鏡、望遠鏡を設置してほしい。
- ・屋上から全方向の景色が見たい。
- ・車いすやお年寄りが上がれるようエレベーターを設置してほしい。

施設に関する全体意見

- ・10年後、20年後も古さを感じないデザインにしてほしい。
- ・会話しやすい椅子がほしい。
- ・温かみのある、気軽に利用しやすい雰囲気にしてほしい。
- ・幼児、こども、大人、高齢者、あらゆる人にとって使いやすい、やさしい施設にしてほしい。
- ・安全第一で運営してほしい。
- ・観光客の人も寄りたくなるような施設。
- ・夜間も利用できるようにしてほしい。
- ・Wi-Fi利用ができるようにしてほしい。

変更後

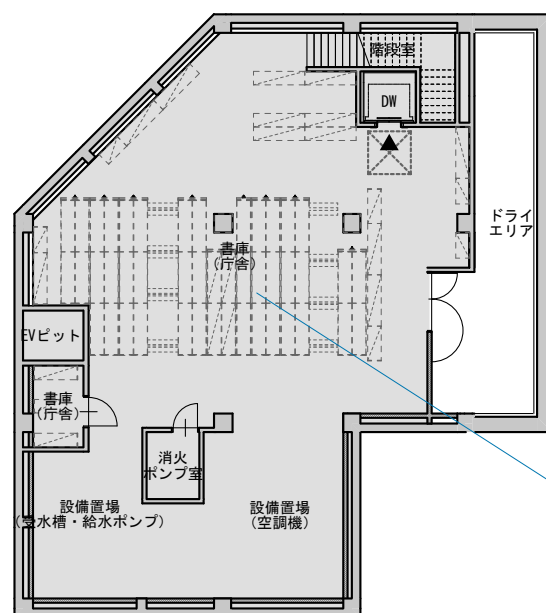
設計案改善の方針

頂いたご意見等を踏まえ、改善の方針を設計案に反映しました。

●施設に関する全体意見

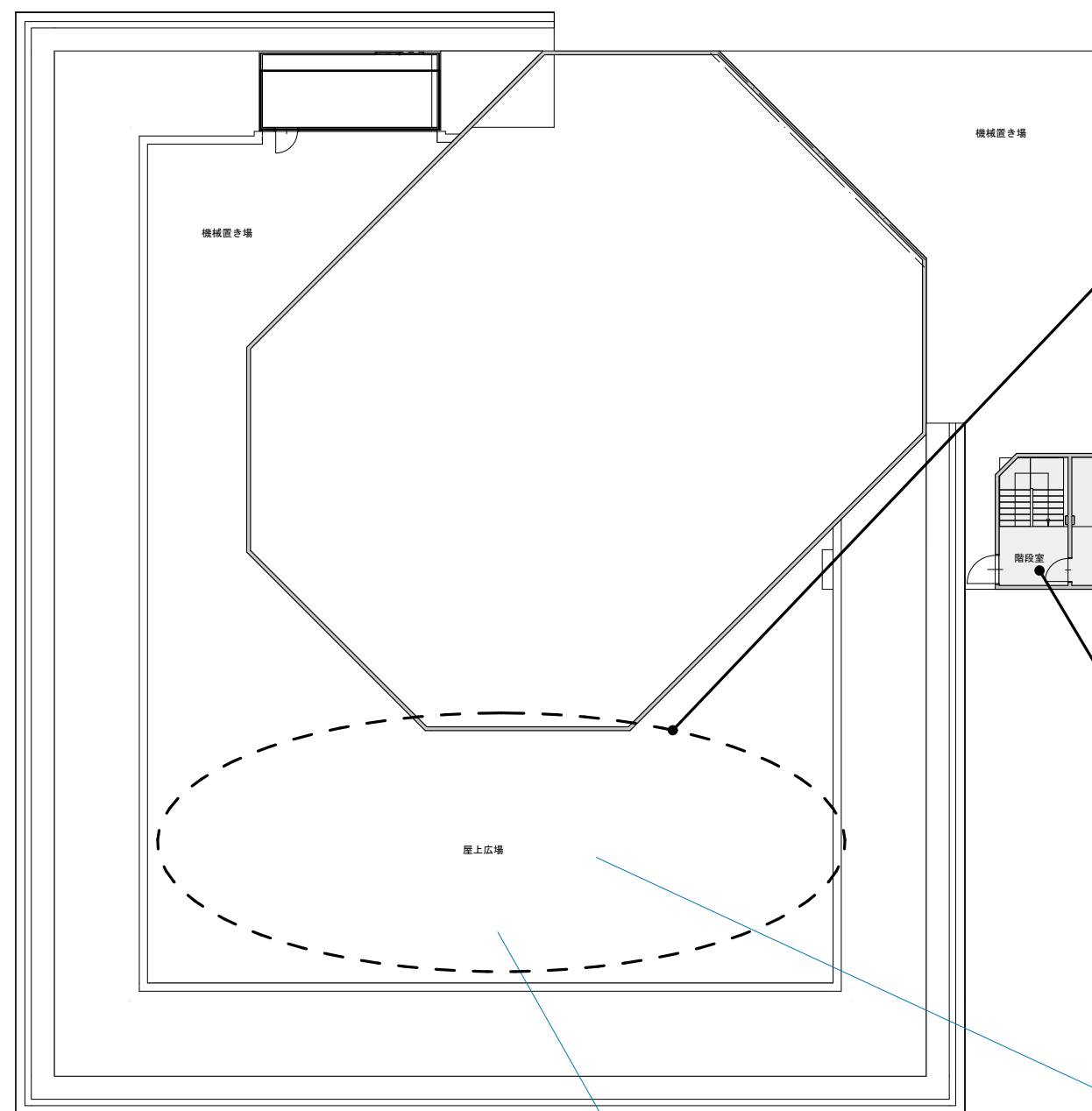
- ・あらゆる人にとって使いやすく、温かみのある内装計画を行います。
- ・わかりやすいピクトグラム等のサインを検討します。
- ・バリアフリーを充実させ、あらゆる利用者にとっても使いやすい施設を計画します。
- ・耐震性能の向上により、災害受援施設としての活用を検討します。

今後の管理運営方法及び詳細設計において検討を予定しています。



地下の機械室をコンパクト化し、書庫・倉庫として利用可能とします。

地下平面図



ビュースポット

人工芝、ベンチ等を設けることで気軽に訪れられるスペースとします。

●屋上

- ・これまで利用が難しかった屋上を整理し、市民が利用できないかを検討しています。

(＜想定中のしつらえ＞
人工芝・見晴らしデッキ・水栓・階段昇降機)

●階段

- ・屋上テラスには、誰もが活用できるようにとの声をいただきました。エレベーターの着床について検討を重ねましたが、構造的・法的な制約により、実現が難しいことが分かりました。誰もが安心して活用しやすい場であることを目指し、現在、安全対策や階段昇降機の設置等について検討しているところですが、同時にその他の方法で眺望を確保することについても検討を進めています。

夏祭りや花火大会時の屋上開放や時間制限について検討します。

屋上平面図

※この平面図は基本設計時点のものであり、今後変更の可能性があります。

バリアフリー対策について

バリアフリーへの配慮について、現時点での対策をまとめました。

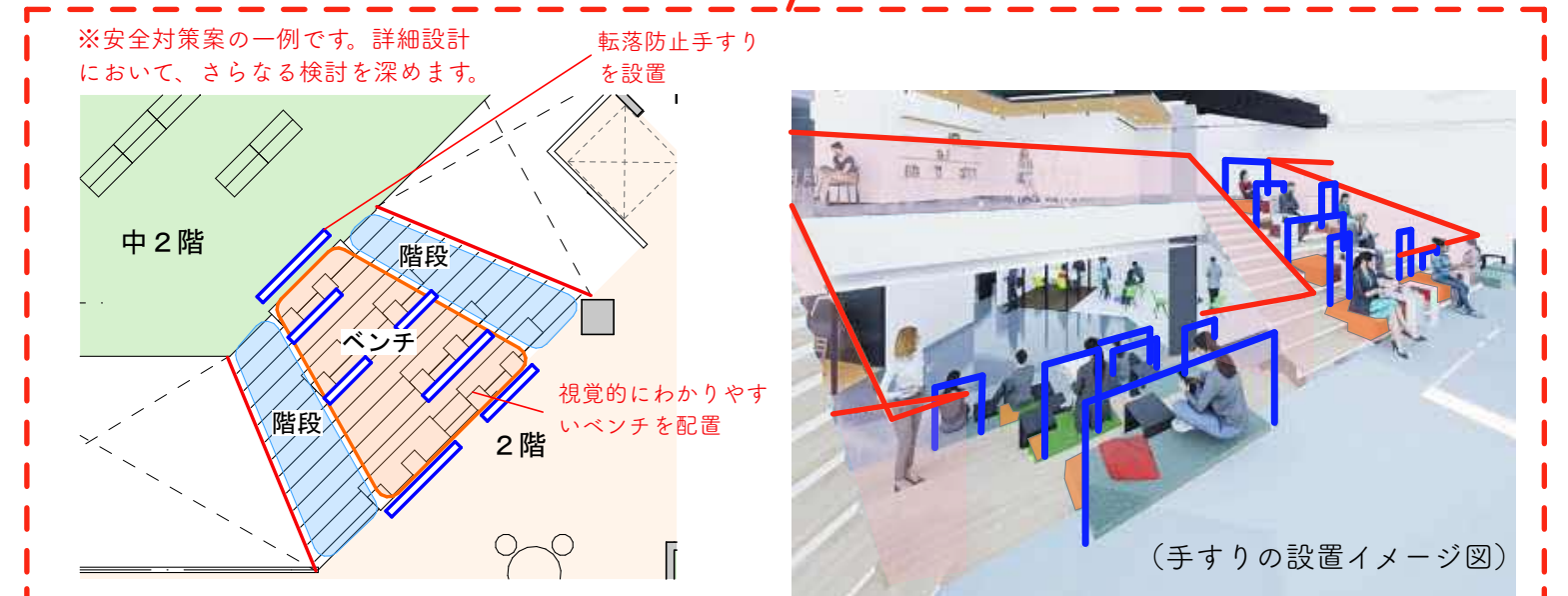
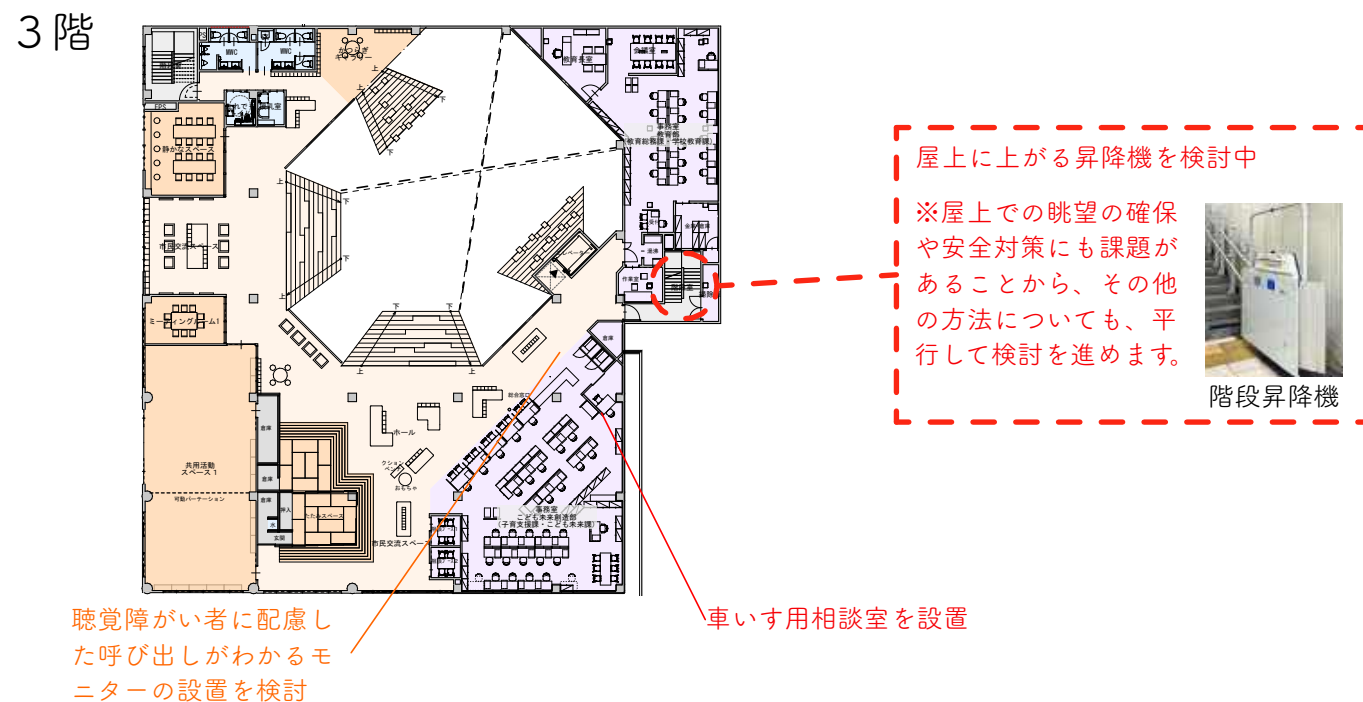
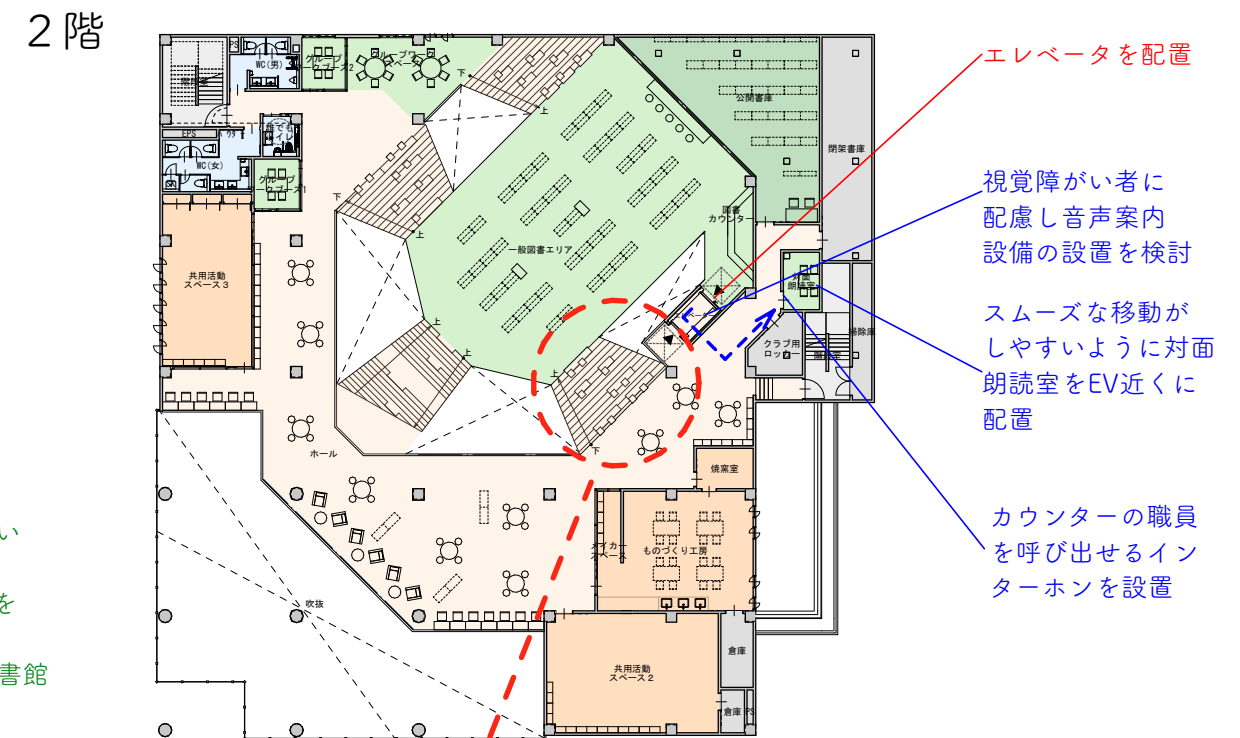
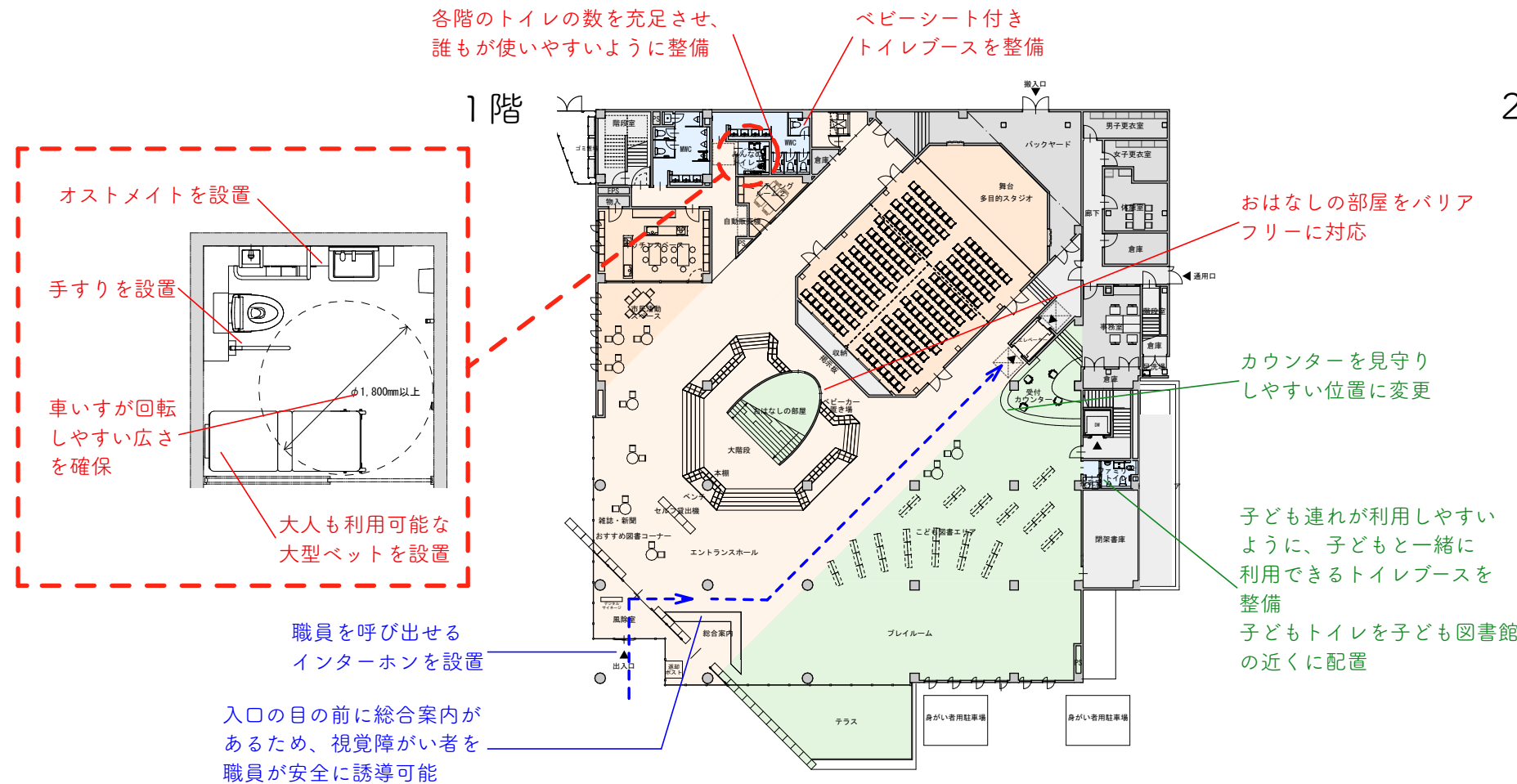
●凡例

- 赤：身障者、高齢者に配慮した項目
- 青：視覚障がい者に配慮した項目
- 橙：聴覚障がい者に配慮した項目
- 緑：子育て世代に配慮に配慮した項目

●検討中の項目

- ・車いすに対応した本棚の幅
- ・館内用貸出車いすの設置
- ・車いす対応の閲覧席
- ・点字本などの配架を検討
- ・わかりやすいピクトグラム等のサイン
- ・文字を読みやすい照明
- ・重い資料を広げられるテーブル
- ・屋上活用の可否
- ・ベビーカー置き場
- ・身障者駐車場（屋根有り）
- ・点字ブロック

詳細設計で反映を予定しています。





※イメージは変更の可能性があります。



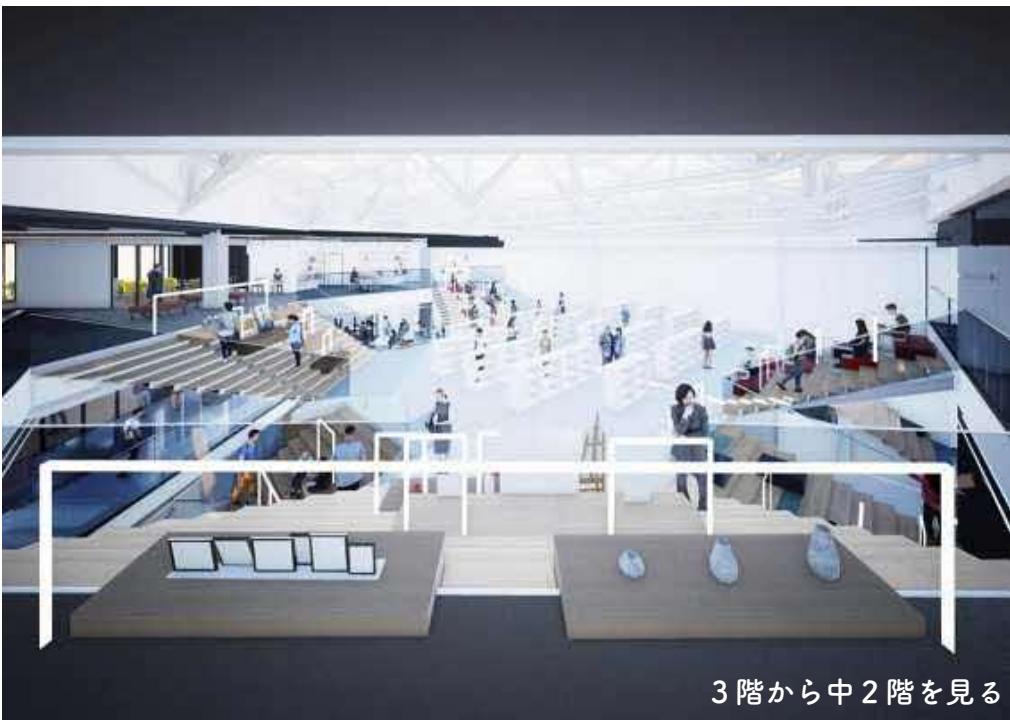
中2階からグループワークスペースを見る



中2階からかつらぎギャラリーを見る



中2階から庁舎を見る



3階から中2階を見る



かつらぎギャラリーから市民交流スペースを見る



たたみスペース

※イメージは変更の可能性があります。

(仮称) 當麻複合施設管理・運営計画
(前編)

令和6（2024）年3月

葛 城 市

Ⅰ 指定管理者制度導入の検証にあたって

(1) (仮称) 當麻複合施設管理・運営基本方針(以下「基本方針」という。)を踏まえた検討

基本方針では、管理・運営の考え方について、検討の経緯及び以下の仮説を示しています。

令和5(2023)年10月着手の(仮称) 當麻複合施設設計業務(以下「設計業務」という。)においては、内包する管理・運営検討業務の一環として、基本方針を踏まえた検証作業を進めています。

基本方針における仮説(振り返り)

(仮称) 當麻複合施設(以下「複合施設」という。)に求められる多様なニーズ・課題への対応に向けては、民間事業者の創意工夫や柔軟な発想、またノウハウ及びマンパワー等、直営方式に不足する要素をうまく活用し、さらには、これまでの本市が培ってきた知識・経験の継続や、公共性に十分に配慮したうえで、複合施設の新たな管理運営手法として、「指定管理者制度」を導入することについて、導入コスト等を含めた検証作業を行うことが有効

(2) 複合施設の一体的な管理・運営

上記仮説の検証にあたっては、葛城市 當麻複合施設整備基本計画及び基本方針においても述べてきた通り、複合施設に備わる複数の要素が混ざり合い、結びつくような、地域の人と活動を支える場所を実現するためには、生涯学習及び図書館をはじめとした複数要素の一体的な管理・運営を念頭に作業を進めることが、必要不可欠となります。

中でも、生涯学習活動については、図書館というたくさんの結節点を持った「知と情報の宝庫」と結びつくことによって、その活動の幅や継続性が何倍にも広がる可能性があります。

「葛城市らしい」複合施設の運営にあたっては、生涯学習の要素が単に図書館に付随したものということではなく、いかにして相乗効果を生み、多様なニーズへの対応やサービスの充実に応えていくかが、地域と施設を結ぶ鍵になると考えています。

(3) 指定管理者制度の検証にあたっての視点

基本方針に定める仮説について、指定管理者制度の導入を判定する基準として3つの視点に着目し、検証及び分析を行いました。

【判定基準とする3つの視点】

- ① コストの視点
- ② サービス(スキル)の視点
- ③ 組織の視点

(4) 3つの視点に基づいた分析

① コストの視点

複合施設の運営管理費用について、直営・指定管理の人件費に着目し、事業者への参考見積の徴取等、ヒアリング調査による比較を行いました。

費用比較結果については、過去の當麻文化会館・當麻図書館の人件費（直営）と比較し、指定管理による運営の人件費の方が高いという結果を受けています。ただし、ただちにコストが高いとは言えず、指定管理の見積は、現状と比べ開館日数や開館時間の延長をある程度考慮したものであることや、今までにはない追加業務を含めたものであること等を考慮すると、直営と同等、若しくは指定管理の方に費用低減効果があると分析しています。

つまり、現状の直営による人事体制を鑑みると、勤務体制・雇用形態の柔軟さにおいては、直営よりも指定管理者に優位性があるため、次のような想定の下では、指定管理者の方がコストを低く抑えたまま、より高い水準のサービスが提供できる可能性があると言えます。

今後は、ICTを導入した場合や、さらなる市民サービスを創出する場合、他施設との連携を想定した場合等、幅広い観点で費用比較を行いながら、目指すべき要求水準・サービス計画の検討を進める必要があります。

条 件	指定管理者に優位性がある理由
開館日時の拡大への対応	業務シフトの柔軟性、雇用形態の柔軟性が高い
複合施設への対応	複合施設の一体的な運営経験があり、効率化が見込まれる
維持管理業務を含めた運営	複数の組織が混在する施設でも、維持管理を含めた包括的・効率的な運営が可能
事業等の収支バランス改善	経営的視点・企画力・コンテンツ保有数・広域的フィードバック等を活かした事業収支バランスの改善が見込まれる

② サービス(スキル)の視点

近年、生涯学習及び図書館に求められるサービスやスキルは、急激な変化を続けています。それらの変化について情報を取得し、適応したうえで、良い事業(サービス提供)を遂行する能力(スタッフ)を確保することに対しては、直営よりも幅広い市場と経験を有する指定管理者の方に優位性があると言えます。

加えて、葛城市にとって新たなアプローチとなる複合施設の管理・運営においては、個々の機能継続に必要となる専門性だけでなく、コーディネート・マーケティング・デザイン・DX等の幅広い能力を活用していくことが求められます。

条 件	指定管理者に優位性がある理由
専門的な人材の確保及び維持	仕様による司書率等の確保や広域連携による登用が可能
図書館以外の施設運営能力	司書等専門性の枠を超えた事業を連携・展開する能力が高い

生涯学習の自主事業開催能力	提案型のイベント、講座等の運営企画等、サービス内容の充実が期待できる
事業・運営マネジメント能力	公民・地域・組織間のコーディネート・マーケティング能力が高い
最新技術の情報収集及び活用	ICTやDX等について最新情報収集し、活用する能力が高い

③ 組織の視点

複数の機能が融合した複合施設において、一貫性のある質の高い事業を遂行していくためには、組織体制も一体的なものである必要があります。

縦割りの組織文化が根強い行政組織では、業務の権限を越えた対応が難しい傾向があり、次のような条件下では、組織の柔軟性や運営体制構築の実績がある指定管理者に優位性があると考えられます。

条 件	指定管理者に優位性がある理由
複数の異なる組織の融合	縦割りの行政組織内では、横断的な組織を形成しても、ノウハウがないため手探りでの運営となる
事業組織の既成概念の変化	今後、まちと結びついた組織等、状況の変化に柔軟に対応した、行政組織内にはない機能が必要となる可能性が高い
マンパワーの不足への対応	市の施設と比べ、組織規模が格段に大きく、時流への対応が早いことから優位性が高い

ま と め

管理者制度に係る仮説について、判定基準とした3つの視点に基づいた分析を行いました。葛城市の事案については、3つの視点がすべて当てはまるため、直営よりも指定管理者制度による運営が適していると判断します。

ただし、先行事例調査では、1つもしくは2つの視点が該当することを確認しながらも、複合施設を直営（主要なサービスを業務委託している場合を含む）と判断した自治体も存在し、実情として運営にはかなりの負担があるとヒアリングしています。

即ち、指定管理者の選定にあたっては、上記分析を踏まえた「葛城市らしい」複合施設の運営という「難易度の高い業務」について、十分な業務遂行能力のある事業者を選定し、業務内容を適切にマネジメントすることが重要だと考えています。

今後は、市と指定管理者との役割分担及びモニタリング体制の構築等について、有識者への意見聴取を踏まえ、検討を深めてまいります。

2 指定管理者制度の導入にあたって（生涯学習）

（1）指定管理者制度の導入にあたって意識すべき視点（生涯学習）

指定管理者制度の導入にあたっては、以下の視点について意識し、公共性の確保に努めてまいります。

- ① 社会教育法に基づく社会教育振興の継続
- ② 施設運営の継続性の確保
- ③ 市と指定管理者との意思疎通
- ④ 市職員及び指定管理者の人材育成

（2）指定管理者制度の導入範囲（生涯学習）

指定管理者制度の導入形態について、地域との連携や専門性の観点からパターン比較し、マネジメントを考慮しながらも民間ノウハウを活用するための体制について検討を行った結果、導入範囲を次のとおりとします。

「複合施設のみ指定管理者制度導入し、その施設は直営として効果を検証する。」

複合施設のみを指定管理とする場合、直営館が残り、指定管理者制度の効果を検証しながら直営館とともに事業が進められます。

一方、市の生涯学習支援部門が、まちづくり部門や地域福祉部門と連携し、市全域に統一性を持った生涯学習支援施策の推進を図るにあたっては、市に経験がないことや、縦割りの組織文化による難しさが残ります。

ただし、複合施設の管理・運営には、今までにない特徴があることから、導入時点で発生する課題について、直営館がサポートできる体制を維持できること、また、導入効果やスケールメリットを見極めた上で、その他館への水平展開を計画できることについては、メリットがあると言えます。

（3）市と指定管理者の役割分担（生涯学習）

生涯学習機能の運営では、これまでの施設運営で培ってきた経験を活かし、効率的・効果的な運営を引続き実施するとともに、多様な主体や関係部署との連携を一層深め、様々なニーズへの対応や、市域全体で生涯学習施策を推進する必要があります。

そこで、複合施設に指定管理者制度を導入し、効率的・効果的な施設運営とともに事業サービスの向上を図るため、市がマネジメントを行うことを前提としつつ、市と指定管理者の役割分担を行い、事業を推進します。

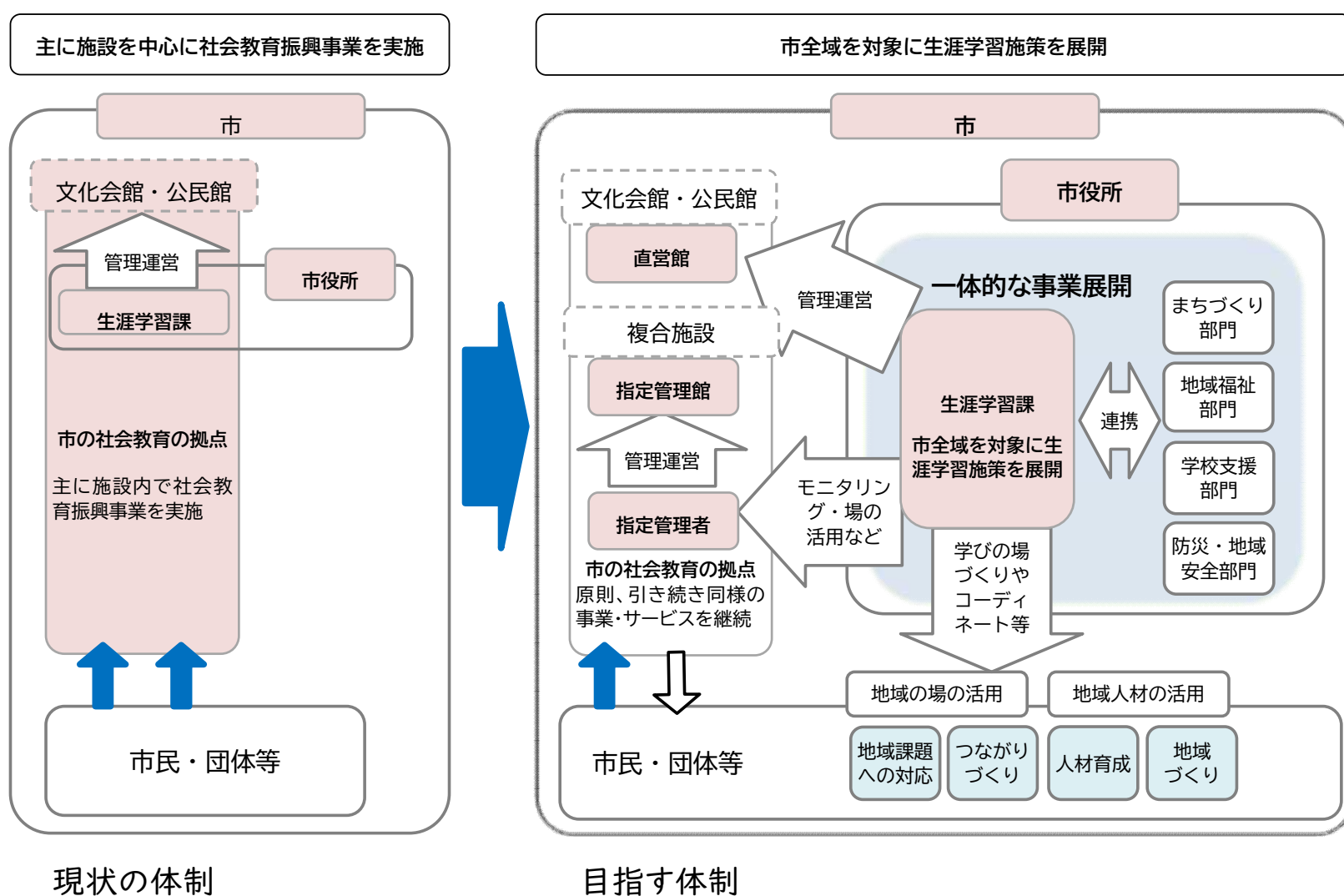
- ① 現在、直営で実施している施設管理業務（貸館、ホール運営、施設維持管理等）は、指定管理者が中心に担うものとします。
- ② 生涯学習施策の推進については、市と指定管理者でそれぞれの役割を担い、連携して事業を行います。方針や事業の方向性等については市が定め、事業の運営等について

は指定管理者のノウハウやマンパワーを活用し、取組を進めるものとしします。

- 講座運営方針の決定に関しては市が行います。その企画や内容検討においては、指定管理者の知見を活用し、講座の運営に関しては指定管理者が中心となって行います。
- 地域で活動する団体やボランティアの育成、協働・連携、その活躍の場の提供に関する
ことについては、市と指定管理者が連携して行います。
- 生涯学習施策の推進における社会教育関係団体の支援については、指定管理者と連
携しながら、市が中心となって行います。
- 運営に関わる審議会等については市が行います。

ま と め

生涯学習支援部門の役割や位置づけを整理し、マネジメント・モニタリングができる体制を維持したうえで、複合施設のみに「指定管理者制度」を導入し、導入効果の検証を踏まえた水平展開についての検討に繋がります。



3 指定管理者制度の導入にあたって（図書館）

（1）指定管理者制度の導入にあたっての視点

指定管理者制度の導入にあたっては、以下の視点について意識し、公共性の確保に努めてまいります。

- ① 社会教育法及び図書館法に基づく社会教育振興の継続
- ② 選書・蔵書の中立性の確保
- ③ 効率的・効果的なレファレンスサービスの実施
- ④ 図書館運営の継続性の確保
- ⑤ 市と指定管理者との意思疎通
- ⑥ 市職員及び指定管理者の人材育成
- ⑦ 地域の資源を活用した多様な主体との連携

（2）指定管理者制度の導入範囲（図書館）

指定管理者制度の導入形態について、地域との連携や専門性の観点からパターン比較し、マネジメントを考慮しながらも民間ノウハウを活用するための体制について検討を行った結果、導入範囲を次のとおりとします。

「複合施設のみ指定管理者制度導入し、新庄図書館は直営として関係性を構築する。」

複合施設・新庄図書館の両館を指定管理とする場合、導入効果の想定が難しく、現状では中立性が求められる選書方法・図書館事業の把握や、市職員の経験等の継承が課題となる可能性があること等、市の図書館施策における企画立案能力低下が懸念されます。

一方で、複合施設のみ指定管理を導入し、新庄図書館に市職員を集約させた場合は、直営館として指定管理者の業務内容を確認し、指導・評価することが可能であると同時に、市と指定管理者との連携により、市職員にも新しい知識・広い視野の習得機会が得られる等、直営館と指定管理館が相互に高め合い、図書館運営の公共性・継続性を担保しながら、民間ノウハウの活用による図書館機能の強化を図ることが可能になると考えられます。

また、図書館を通じた地域づくりを推進するためには、市職員と指定管理者が一体となった、地域ボランティアとの密接な連携や、地域との顔の見える関係性づくりやが必要です。

日々の地域とのつながりを、両館の運営に活かすため、地域との連携においては、市と指定管理者が情報を共有できる体制を構築し、互いに経験値を高めつつ関係性を構築していくことが望ましいと考えています。

なお、将来の社会状況や環境変化を踏まえ、適宜、導入形態について見直しを行うことも必要です。

（3）市と指定管理者の役割分担（図書館）

図書館では、図書館の専門性に加え、これまでの運営で培ってきた知識や経験を活かし、地域事情を踏まえながら市域全体の生涯学習施策をサポートする機能や、図書館の持つ「場」

の要素を有効に活用した、利用者サービスを向上させる機能が必要となっています。

そこで、複合施設に指定管理者制度を導入し、効率的・効果的な施設運営とともに事業サービスの向上を図るため、市がマネジメントを行うことを前提としつつ、市と指定管理者の役割分担を行い、事業を推進します。

- ① 現在、直営にて実施している業務（貸出・返却カウンター、配架、書庫出納、図書装備、ブックポスト巡回、施設管理等）は、指定管理者が中心に担うものとします。
- ② その他の業務については、市と指定管理者でそれぞれの役割を担い、連携して実施します。方針や事業の方向性等については市が定め、事業の運営等については指定管理者のノウハウやマンパワー等を活用し、取組を進めるものとします。
- 資料選定・購入・除籍業務等、図書資料の収集・保存に関することの決定については、市が行います。
- 生涯学習施策の推進における地域団体や学校等との連携については、指定管理者と連携しながら、市が中心となって行います。
- 運営に関わる審議会等については市が行います。

ま と め

図書館業務のノウハウを市がしっかりと保持し、指定管理者のマネジメント及びモニタリングを行うことができる体制として、複合施設のみに指定管理者制度導入し、新庄図書館は直営とすることで、相互に高め合う関係性を構築します。

4 指定管理者制度の導入にあたって（庁舎）

（1）指定管理者制度の導入にあたっての視点

指定管理者制度の検証にあたっては、以下の視点について意識し、公共性の確保に努めてまいります。

- ① 関係法令及び条例等の規定の順守
- ② 個人情報、情報の保護に関する適切な管理
- ③ 環境や災害時の対応に配慮した管理・運営

（2）指定管理者制度の導入範囲及び市と指定管理者の役割分担（庁舎）

庁舎機能の施設運営については、直営によるものとします。また、施設管理者が担う施設管理については、指定管理によるものとし、複合施設全体を統括します。複数の機能が混在した施設管理について、全国的には指定管理者による効率的な運用が行われている事例が複数あることから、直営と比較し、実績のある指定管理者に優位性があると考えられます。